

中部大学幸友会 会報2022

# 幸友

特集

## 創立者の 思いを未来へ

～不言実行の精神とともに～

ふらっと美術館めぐり

あま市七宝焼アートヴィレッジ

おとなの健康塾

見直そう「清潔ケア」

VOL.25



# 2023年春、理工学部が誕生。 智識の森は8学部27学科へ。

中部大学は、新しい時代に即した分野横断型の3学科からなる「理工学部」を設置し、次世代産業のリーダーとして持続可能な社会を構築する科学技術者を育成します。この理工学部の誕生により、本学の8学部27学科が協調することで、将来の世代が安全・安心で豊かに暮らせるよう、持続的に発展する社会を実現していきます。

## 理工学部



### 数理・物理サイエンス学科

定員40名

数理・物理科学の知識を身につけ、  
さまざまな事象の解明とイノベーションを通して、社会に大きく貢献します。

キーワード ●数学 ●物理学 ●データサイエンス ●量子コンピュータ ●機械学習  
●新エネルギー・再生可能エネルギー ●天文 ●自然災害  
●サイエンスコミュニケーション ●高校教諭<sup>※</sup>(数学/理科)

※教職課程認定を申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。



### AIロボティクス学科

定員80名

人工知能(AI)技術を駆使し、さまざまなロボットへの実装を通して、  
人とロボットの共存社会を実現します。

キーワード ●AI ●データサイエンス ●ロボティクス ●自動制御 ●プログラミング  
●機械学習 ●組込システム ●ヒューマンロボットインタラクション  
●メカトロニクス(機械・電気・電子) ●情報セキュリティ ●脳神経科学



### 宇宙航空学科

定員80名

航空宇宙機の設計・開発・製造・利用の専門知識・技術を身につけ、  
次世代の航空宇宙産業の発展に携わります。

キーワード ●航空機 ●ロケット ●電気推進 ●複合材料 ●宇宙航空機構造 ●ドローン  
●人工衛星 ●データサイエンス ●プログラミング ●電気電子回路

## 01 ニュース

CHUBU UNIVERSITY NEWS

## 03 特集

創立者の思いを未来へ ～不言実行の精神とともに～

## 11 インタビュー

企業人の格言

ダイナパック株式会社 代表取締役社長 齊藤 光次氏  
東濃信用金庫 会長 市原 好二氏

## 13 ふらっと美術館めぐり

あま市七宝焼アートヴィレッジ

## 15 シーズ紹介

研究室訪問

工学部 情報工学科 山下 隆義 教授  
人文学部 歴史地理学科 水野 智之 教授  
経営情報学部 経営総合学科 濱田 知美 講師  
実験動物教育研究センター 岩田 悟 助教

## 19 おとなの健康塾

見直そう「清潔ケア」

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 岡村 雪子 准教授

## 21 本棚から社会を見る

人生の分岐点でいかに選択するか

学長補佐  
応用生物学部 前島 正義 教授

## 23 会員企業紹介

幸友会会員企業を訪ねて

株式会社IEC 西田 誠さん  
竹田印刷株式会社 荒川 杏菜さん

## 25 就職レポート2022

オンラインか対面か、3年目に起きた変化とは？

## 27 総会報告

第34期中部大学幸友会総会報告

## 29 講演ダイジェスト

「温故知新と転禍為福で中部の未来を拓く」

名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長、  
中部大学客員教授 福和 伸夫氏

## 31 イベントレポート

中部大学フェア2022

## 33 会員企業ニュース

株式会社サラダコスモ

## 34 TOPICS

- 中部大学スポーツ宣言
- CU Synergy-Program

中部大学研究紹介は  
こちらからご覧いただけます。

中部大学研究紹介

検索



## ごあいさつ

皆様方のご支援とご協力に  
深く感謝申し上げます。

中部大学幸友会 名誉会長

学校法人中部大学 理事長・総長 いいよし あつお  
**飯吉 厚夫**



幸友会会員の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。中部大学は、建学の精神、「不言実行 あてになる人間」を具現化するため、文武両道を通して人間力の育成に努めるとともに、7つの学部を持つ総合大学として教育・研究の質の向上に注力しております。現在は、8番目の学部となる理工学部の設置に向けた準備が進行中です。全国から優秀な学生を迎えられることを期待しています。また、研究面においても、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた研究に積極的に取り組み、多彩な研究成果を発表しているところです。幸友会会員数は現在848法人まで拡大し、全国的にも最大級の学園支援団体に成長しています。本学園にとりまして誇りであり宝でもある幸友会は、1989年に設立され2022年に第34期を迎えました。初代会長の川口将一氏から現在の大辻誠会長をはじめとする歴代の会長ならびに会員の皆様に心から感謝の意を表します。今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

文理融合の知財を  
積極的にご活用ください。

中部大学幸友会 会長

春日井商会 会頭 おおつじ まこと  
ナビエース(株) 代表取締役社長 **大辻 誠**



事業拡大、新規事業参入、新製品開発など、新たな挑戦を行う際には、経営資源をいかに獲得するかが大きなカギになります。文理融合の幅広い学問領域をカバーする中部大学には、さまざまな知財が集約されています。そこで、企業戦略の手段の一つとして幸友会を利用してみてはいかがでしょうか。解決すべき課題に関連する専門分野を研究する先生とのパイプを持つことを希望する場合、幸友会を窓口としていただくことで相談しやすくなると思います。また、先生方がどのような研究を専門分野にしているかを知りたいという会員の皆様には、研究内容を紹介した冊子(中部大学研究紹介)をご覧いただくことをおすすめします。産官学連携の入口として、先生とつながりを持つことができる幸友会のメリットをぜひご活用ください。幸友会はいつでも気軽にお訪ねいただけるよう門戸を開いています。引き続き、会員の皆様にとりまして幸友会がさらに実りあるものとなりますよう、今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。





創立者・三浦幸平先生

## 特集

# 創立者の思いを未来へ

～不言実行の精神とともに～

学校法人中部大学の歴史は今から84年前、創立者、三浦幸平先生の永年の夢であった工業技術教育の理想を実現するため、「名古屋第一工学校」を創立したことから始まります。

「人間は実行がともなわなければ意味はない」という言葉のもと、夢を描き、実現してきた創立者の果敢に挑戦する理念は、今の学園に確かに息づいています。

今回の特集では、真の教育のために人生を捧げた創立者の経歴と言葉、創立者を知る3名の先生方のお話、今に受け継がれる創立者の精神についてご紹介します。





不言実行 創立者、夢の軌跡～ありし日の三浦幸平先生～  
<https://www.chubu.jp/main/founder/video/>

三浦幸平先生の経歴と学園発展への取り組み

- 1890 **明治23年8月**  
愛知県知多郡成岩町(現半田市)にて父三浦幸蔵、母とくの二男として生まれる。
- 1896 **明治29年4月(6歳)**  
同地の協和尋常小学校に入学、1900(明治33)年3月卒業。
- 1900 **明治33年4月(10歳)**  
成岩町立成岩尋常高等小学校高等科に入学、1904(明治37)年3月卒業。
- 1904 **明治37年4月(13歳)**  
愛知銀行(現三菱UFJ銀行)半田支店に見習いとして就職、結核にかかり退職。厳しい療養生活を送り、3年間で病を克服する。
- 1909 **明治42年9月(19歳)**  
教師になる意志を固め、師範学校入学を志したが、年齢超過で望みを達せられず、准教員資格取得のための講習を受け、愛知県知多郡尋常小学校准教員講習所を卒業する。
- 1909 **明治42年10月(19歳)**  
知多郡常滑尋常高等小学校代用教員となる。
- 1910 **明治43年10月(20歳)**  
同郡成岩第一尋常高等小学校准訓導となる。
- 1912 **明治45年6月(21歳)**  
同郡阿久比第一尋常小学校准訓導となる。
- 1915 **大正4年4月(24歳)**  
専門的な分野を究めたいと考え、東京物理学校(現東京理科大学)理化学科に入学。
- 1917 **大正6年9月(27歳)**  
東京物理学校に通いながら、東京帝国大学造兵教室の実験助手として勤める。1918(大正7)年3月、東京物理学校理化学科を卒業。
- 1918 **大正7年4月(27歳)**  
愛知県立第一中学校(現旭丘高校)嘱託教員となる。
- 1920 **大正9年4月(29歳)**  
愛知県立明倫中学校(現明和高校)教諭となる。
- 1921 **大正10年4月(30歳)**  
名古屋高等工業学校(現名古屋工業大学)助教授となる。
- 1925 **大正14年10月(34歳)**  
山田橋衛長女、愛子と結婚。
- 1931 **昭和6年4月(40歳)**  
東京帝国大学の眞嶋研究室に1年間内地留学し、空気流の実験的研究に取り組み、「空気の流れの流体力学的研究」の論文を完成する。
- 1931 **昭和6年8月(41歳)**  
名古屋高等工業学校教授となる。
- 1938 **昭和13年12月(48歳)**  
永年の夢であった工業技術教育の理想を実現するため名古屋第一工学校を創立する。  

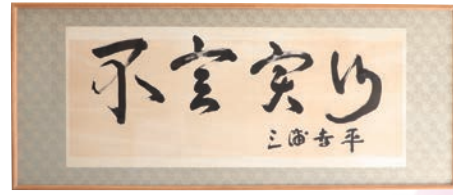
- 1944 **昭和19年11月(54歳)**  
6人の子どもを残し、妻愛子が病気のため死去。
- 1945 **昭和20年3月(54歳)**  
空襲により名古屋第一工学校、分教場とも全焼、悲嘆のなかにも再起を決意する。

- 1950 **昭和25年4月(59歳)**  
愛知常磐女子高等学校と名古屋第一工学校とを合併、新制度の常磐高等学校を設置し校長に就任、財団法人常磐学園理事長となる。
- 1951 **昭和26年3月(60歳)**  
名称を学校法人三浦学園とする。
- 1951 **昭和26年4月(60歳)**  
鶴舞幼稚園を設置し、園長に就任。
- 1955 **昭和30年9月(65歳)**  
中部高等電波学校を吸収し、念願の工業学校への復帰をはかる。
- 1957 **昭和32年12月(67歳)**  
常磐高等学校を名古屋第一工業高等学校と改め、工業高校として新たな第一歩を踏み出す。
- 1960 **昭和35年11月(69歳)**  
愛知県表彰条例により、愛知県知事より教育功労者として表彰される。
- 1961 **昭和36年1月(70歳)**  
鶴舞の校地に鉄筋コンクリート6階建ての高層校舎を3カ年計画で建設する。
- 1962 **昭和37年4月(71歳)**  
名古屋第一工学校創立以来の夢であった大学建設に取りかかり、春日井市に中部工業短期大学を設立し、学長に就任。
- 1962 **昭和37年5月(71歳)**  
学校法人三浦学園理事長および中部工業短期大学長として、教育の振興に寄与し公衆の利益を興した功績により、藍綬褒章を授与される。
- 1963 **昭和38年4月(72歳)**  
地元の要望に応え、名古屋第一工業高等学校春日井分校を開校。
- 1964 **昭和39年4月(73歳)**  
中部工業大学を設立し、学長に就任。
- 1965 **昭和40年4月(74歳)**  
名古屋第一工業高等学校春日井分校を独立させ、中部工業大学附属高等学校(現中部大学春日丘高等学校)とする。
- 1967 **昭和42年9月(76歳)**  
欧米の学事視察に出発し、アメリカ、メキシコ、カナダ、イギリス、フランス、西ドイツ、イタリア、スイス、オランダ、デンマーク諸国の大学、研究所を視察。
- 1967 **昭和42年12月(77歳)**  
叙勲、喜寿祝賀の胸像が学内に建立される。
- 1968 **昭和43年6月(77歳)**  
韓国ソウルで開催された世界学長会議に出席。
- 1971 **昭和46年4月(80歳)**  
中部における科学と技術の殿堂として念願の中部工業大学大学院を設置する。
- 1973 **昭和48年5月(82歳)**  
国際交流の道を拓くため、オハイオ大学と姉妹校の提携。  

- 1975 **昭和50年6月(84歳)**  
死去。享年84歳。学校法人三浦学園の学園葬が名古屋市民会館大ホールで行われる。



## 不言実行の精神



学校をつくる以上、学校には魂がなければならぬと思います。人はいろいろな意見を言うが、いざやるときは、誰も手を出さない。人間は実行がともなわなければ意味はない。私は学校をつくるなら、実行力のある人間をつくりたい。実行して初めて物事は成就するものだ、ということを建学の精神にしようと考えました。「不言実行」といつてもがむしゃらにやることではありません。また、物を言わないということではなく口だけで何も実行しないことがいけないということです。それが世間のためになり、人々が喜んでくれることではなくてはなりません。

## 恩をわすれず 何事にも誠心誠意で

折に触れて口にされていた言葉は「恩をわすれるな」ということです。名古屋第一工学校の恩師真嶋正市先生を記念して「真嶋室」を設けられたのも、恩をわすれないあらわれです。また、物事を最後まで諦めないで、粘り強く努力すること、徒労を厭わず何事にも「誠心誠意」尽くされる姿は、私には何ものにも勝る尊い教えでした。

(大西良三前学園長著「学園回想」より)

## 志と決断

独自の人生観や教育観を持ち、折に触れ、自ら書き記し、語ってきた創立者・三浦幸平先生。ここでは、創立者が残した言葉の中から、人生や仕事において決断し行動するときのヒントになるような言葉のいくつかをまとめました。

## いつも真剣勝負で 血路をひらき進んで来た

みながよく、昔物語をするとき、「あの時代がなつかしい」「あの時代に帰ってみたい」と言いますが、私はその場その場がいつも真剣勝負で、いつもそのときの血路をひらきひらき進んで来たのですから、あの時代がよかったのもう一度かえってみたいなどと思ったことは一度もありません。それはつにはからだの健康に自信があったので、強い意志が持てたからだと思います。

(「回想の三浦幸平先生」より)

## 技術は人なり

「技術は人なり」ということを、私はつねづねいっていますが、技術はその人の精神のあらわれだと思います。ただ単にものをつくるというのではなく、その人のすべてが結集されたものが、技術となってあらわれ、そこにものがつくられるのだと思います。弓で矢をはなつときにも、熱中するとほかのものは消えうせて、的だけが見えるようになるのと同じで、そうならないと、本当の技術は生まれてこないものです。

(「回想の三浦幸平先生」より)



## 天の時、地の利、人の和

私は日常、打算をはなれて誠意を持ってやったので、困ったときには多くの人の協力が得られたのだと思う。誠心誠意やるということ。人がそんなにまでやらなくても良いということでも、自分は自分でやるだけのことをすることにしている。「天の時、地の利、人の和」という言葉があるが、人の和をつくるのが、天の時、地の利を招くと思う。運不運は誰にでもある。大きな事業をやるには、多くの人の「和」がなければできない。

〔回想の三浦幸平先生より〕

## 一木一草も自分で植え、 育てていくことで、 はじめて学園はなりたつ

私学と官学とのちがいは、官学は国の費用で教育をしているが、私学は自分の力で教育をしているところがちがうのです。したがって、そこには責任も深いし、親しみもあるし、すべては自分の頭にふりかかってくるのです。そこには本当の良さがあるのです。一木一草も自分で植え、育てていくことで、はじめて学園はなりたつのです。だから私学は、いいと思うことはどんどん実行してゆけるし、本当の学問の自由があると思います。

〔回想の三浦幸平先生より〕



創立者はじめ学園の創立に携わった人たち

## 創立者の

## すべては人の結晶で

今日のこの成果は、私が日頃から正しいと思うこと、善なりと信じたことは、必ずこれを実行し貫き通すという不言実行の信念を基調とし、また誠実に常に感謝の念を忘れないという私の心根が、期せずして人の和につながり、その人の和の結晶がもたらしたものだと思っています。

〔半生の軌跡より昭和37年12月8日の創立記念日の式典を終えて〕

## 努力はその人を つくり上げる

苦学時代の思い出はつきないが、何か若い人々のためになる教訓が、私の生活の中にあつたであらうかと考える。あるとすれば、人間は天才でない限りは努力に努力を重ね、常に心に不満を持たずに現在の自分の人生に生き甲斐を感じて、たゆまず努力することではあるまいか。努力はその人をつくり上げるといふことは、いつの世にも通ずる真理だと私は確信するからである。

〔結晶「第二集」より〕



# 創立者との思い出

戦後の混乱期を乗り越え、高等学校を開校した三浦学園は、短期大学を設立し、四年制大学へ。学園の黎明期を支えた3人の先生方に、創立者とのエピソードを語っていただきました。



つばい かずお  
坪井 和男

1944年生まれ。1964年中部工業大学の第1回生として入学すると同時に研究補助員となる。以来学生として、また教員採用後は助手・講師の立場で中部工業大学の黎明期を創立者と共に歩んだ。その後助教授を経て、中部大学教授(工学部電気工学科)、学長補佐、学監を歴任。2015年に定年退職後は、学校法人中部大学監事へ就任。

## 「希望の光」は「不滅の灯」へ

昭和39年4月、中部工業大学の第一回生として入学しました。このときが三浦幸平先生との最初の出会いです。当時、1年生が360名くらいで内70名が新築間も無い学生寮に入りました。私もその一人です。工業系の大学がまだ少ない時代でしたから、寮には日本各地の出身者がいました。先生は頻繁に寮へお越しになり、一緒に食事をされ、気さくに語り掛けてくださいました。また、先生は、「これから、君たちはジェントルマンにならなくちゃいかん」と言われ、名古屋国際ホテルへ全寮生を連れて、テーブルマナーを学ぶ傍ら退寮パーティーを開いてくださいました。遠方から入学した学生には、まさに父親のような存在でした。同時に私は、入学時に研究補助員という準職員の辞令を先生からいただきました。



はっとり ゆかし  
服部 賞

1936年生まれ。名古屋第一工業高等学校の新校舎が完成した1959年に教諭として赴任。以来創立の地、鶴舞で高校教育に携わると共に創立者の支援の下、吹奏楽部の強化に取り組んだ。その後日進市へ移転した名古屋第一高等学校の教頭を経て、1987年中部大学広報部長へ就任。1996年に退職するまで中部大学の学生募集を担った。

## 脳裏に浮かぶ二つの光景

名古屋第一工業高校が、6階建ての校舎を完成させた昭和34年、そこから始まった私の教員人生の中で、三浦幸平先生との忘れられない二つの出来事についてお話しします。

教員になってまもなく、大学時代にブラスバンドでトロンボーンを吹いていた経験から、吹奏楽部を指導することになりました。しかし、部員は10名ほどで楽器も揃っていない状態。そんなあるとき、先生が練習の音を聞いて教室に來られました。「いま楽器はどれだけだ?」「はい、これだけです」と答えると、「そうか、買わないといかん。服部君、情操教育として立派なブラスバンドをつくってほしいか。必要なお金はいくらでも出す」とおっしゃいました。その後、部員を集めて20人を超えたときに楽器屋で11人分の楽器を買いました。数日後、先生から



やまだ けいいち  
山田 啓一

1941年生まれ。1964年名古屋第一工業高等学校・春日井分校の開校時に教諭として赴任。以来、改組された中部工業大学附属高等学校で教頭心得、校長補佐として校長でもある創立者と共に学校運営に取り組んだ。その後春日丘高等学校では教頭、副校長、校長を歴任。1997年から法人事務局へ異動。2007年に退職するまで法人事務局次長を務めた。

## 不言実行であり有言実行の先生

昭和38年秋のこと、もともと私は山村の禅寺の跡取りとして生まれましたので、大学卒業後はいずれ田舎に帰って教員をしながら寺を継ぐつもりでした。しかし、たまたま叔父の伝手ですり三浦学園という私学が若い先生を募集しているという話を知り、鶴舞の名古屋第一工業高校(名一校)へ話を聞きに行くことになりました。それが三浦幸平先生との初めての出会いです。先生は、「学校をつくったが戦争で全部焼けてしまった。大変な時期もあったけれど、みんなの支えがあつて6階建ての校舎ができた。春日井に名一校の分校をつくったから、そこで君に高校を育ててもらいたい。一度、春日井の学校を見てゆつくり考えて返事をもらえないか」というお話をいただき、山田和夫先生(後の第二代理事長)に案内していただきました。まだこれからという現地在



で、先生との関係も近く、大変可愛がっていただ  
きました。

また、先生は、大学院をつくるという強い意志  
をお持ちでした。昭和46年に工学研究科修士課  
程ができ、昭和48年に博士課程を設置。大学をつ  
くってから10年目、驚くべき早さです。認可は、レ  
ベルの高い教員、施設・設備、専門書が整ってこそ。  
当時、日本で工学研究科博士課程を有する大学  
は国立大学8校、公立大学3校、私立大学13校  
の計24校のみで、この地区では名古屋大学だけ  
でした。先生の人徳のなせる業です。

先生は心がとても広く温かい方で、学生を宝の  
ように大事にされていました。教職員も私自身も  
先生を見習い、先生の姿をお手本にしていたと思  
います。今日の全国トップクラスの就職率も先生  
の思いが結実した一つの成果と言えるでしょう。

最後に、先生の言葉を紹介します。自伝「半生  
の軌跡」の中で、大学をつくるために地元の方々  
と話し合いをしていたときに、丘の上に見た作業  
小屋の灯を「希望の光」と表現しています。その  
光を、後に先生は自身の胸像の除幕式のとときにこ  
う言い換えています。「私はこの像とともに何百  
年何千年の生命をこの学園の中に生きることが  
できるのです。不言実行の精神とともに、不滅の  
灯となる…」と、「希望の光」を「不滅の灯」へつな  
げたことに私は感動を覚えました。教職員、卒業  
生はじめ学園の発展に関わった全ての人の人たちの魂  
が今日の学園をつくっているように、この「不滅の  
灯」のもと、これからも学園全体の発展を私は強  
く願っています。

校長室に呼ばれました。先生は、「買うまでもう  
ちよつと途中経過を相談してくれんと。請求書がえ  
らい値段になつてゑぞ」と言われました。「しかし先  
生、いくらでも使えとおっしゃつたですよ」と私。「そ  
う言つたかもしれないけども」と先生。金額は20万  
円(※)くらいだつたと思います。二人の沈黙が10分く  
らい続いた後、先生は、「わかつた。そうか、わしも悪  
かつた。責任を持ってこの請求書のお金は払う」と  
おっしゃいました。それから吹奏楽部は猛烈な練習  
を経て、翌年には一人前のブラスバンドとして披露で  
きるようになりました。

もう一つは、その何年後かのある秋のこと。職員  
研修旅行で兵庫県の城崎温泉へ行った帰路での話  
です。米原駅に列車が停車。車内のボックス席で  
座っていたのは先生と秘書の小林さんと私の3人。  
私は先生の向かいに座っていました。すると、先生が、  
「小林さん、アイスクリームでも買ってきてくれ」と  
200円を手渡しました。小林さんは列車を降り  
て売り子から4つ買ってきました。1つ30円。お釣  
りを受け取る先生。すると、「あれ、70円しかない  
ぞ。10円もらつて来なさい」と。小林さんは再び売  
り子の元へ行き、お釣りをもらつて戻ってきました。  
「はい、10円」と手渡すと、先生は「うん」とうなず  
き、小さな財布に、その十円玉をそれはそれはとて  
も大切に仕舞われたのです。私は、その光景をじつ  
と見ていました。そこで思い出したのは、楽器を購  
入して怒られたときのこと。長い沈黙の後に「わかっ  
た」とおっしゃつてくださったあの先生の姿でした。  
この二つの出来事が妙に結び付き、貴重な人生訓め  
いたものを教えられた気がしたのです。

※当時の大卒初任給は10,800円

目の前にして構想を語る和夫先生の姿に私はとて  
も感服し、まさに夢がひらいていく感覚でした。私  
はその場で、「ここでお世話になりたいと思います」  
と即答していました。

その数年後、教員の研修旅行で伊豆へ行つたとき  
のこと。「大学をつくつた今、今度は大学院をつくり  
たい。生徒たちが寝泊まりして研修できる施設をつくり  
たい」と、幸平先生はそんな夢をいっぱい語られまし  
た。その姿に不安を感じることは一切なく、私たち  
教員も希望を託す気持ちでした。それから富士山  
の姿が見えたときには、「富士山がなぜきれいに見  
えるかわかるかね?」と問われました。「裾野がしつ  
かりしているからだ。山頂のような上の生徒を育て  
るのも大事だけれど、中腹から裾野の人たちを育て  
ることも重要だ」と、話されたことが印象に残ってい  
ます。「生徒は知力も大事だけれど、知力が偏重に  
なつてはいかん。人をつくりなさい。心の教育をしな  
さい」という先生の言葉を胸に、私自身も心の教育  
を重要視してきました。ただ私学として進学実績  
も必要です。そうして後に中学校も開校し、東大や  
京大、有名私大の合格者を出したときには、山頂の  
生徒も育てることができた、これで先生に恩返し  
ができたという思いが胸に去来しました。

先生は本当に不言実行、そして有言実行の方  
でした。言つたことは必ず実行され、実現されました。  
先に語つていた夢も今ほとんど現実のものになつて  
います。私の人生を切り拓いてくださった先生の不言  
実行の精神を皆さんもずっと持ち続けていただける  
ことを願っております。

# 創立者が夢見た未来を 継承して生きる私たち

幾度も苦境に立たされながら、実行力のある人間をつくることを夢見て、  
高い理想を一步一步実現していった信念の人、三浦幸平先生。その志や熱意は、  
今も大学のキャンパス内や各種取り組みに受け継がれています。

## 生き続ける“不言実行”の精神 「創立者胸像」

私はこの像とともに、何百年何千年の生命を、この学園の中に生きることができるとは、今日除幕されてからは、暑い日も寒い日も学園のもつとも好適な場所に立ち続け、台柱に刻まれた拙筆による『不言実行』の精神とともに、不滅の灯となるので、これを中心に皆さんが学園のために努力奮闘してくださるならば、私はどんなに寒かろうと暑かろうと、ここに肅然と立ち続けるでしょう。



三浦幸平メモリアルホール  
の北側に建つ創立者胸像  
は、今から55年前に建立さ  
れたものです。1967年  
12月8日、学園創立29周年  
記念式と創立者の勲三等瑞  
宝章授与の荣誉と喜寿を祝  
賀する式典を挙行。叙勲喜  
寿祝賀記念事業として建立  
していた創立者の胸像が完  
成し、除幕式も行われまし  
た。左記は、胸像を贈られた  
創立者の謝辞より抜粋した  
言葉です。



## 創立者の足跡を後世に語り継ぐ 「三浦幸平記念室」

(三浦幸平メモリアルホール内)



三浦幸平記念室は、創立者ゆかりの品々を展示する施設として、1976年8月に竣工した20号館(現・国際関係学部棟)の最上階(12階)に設けられました。室内には、創立者が愛用した机や椅子をはじめとして、和綴じの小学校教科書、写真や勲章、そして本学園の原点となった創立者直筆による「不言実行」の書などが展示されています。現在は、1992年3月の創立者生誕100周年を記念して建てられた「三浦幸平メモリアルホール」内に併設され、創立者の精神を後世へ伝えていきます。

## リーダーを育成するための 独自教育プログラム「幸平塾」

「幸平塾」は、建学の精神を具体化するため、創立者三浦幸平先生の名を冠し10年前に誕生し、2022年度にリニューアルしました。資格を目指すためではなく、学生が自らを人間的に、そして社会に資する人材として成長させるための、中部大学独自教育プログラムです。学生は入塾すると、創立者の教えについて学び、塾長講話を聴くなど、学内で開催される講演会に参加し、「聴く」「話す」「対話」「自己理解」などの力を身につけて人間力を磨いていきます。

## あてになる人間を育む 「不言実行館」

「大学は50年経ってやっと大学らしくなる」と常々言われていた創立者。その思いを受け継ぎ、大学開学50周年記念事業の一つとして、「不言実行館」が2015年に建設されました。建物の名称については、当時の学生部便、学内ポスター、大学のホームページで広く呼びかけて公募により決定。学生が建学の精神を大切にして、「自学力(自ら学ぶ力)」と「人間力(自ら考え生きる力)」を備えた「あてになる人間」として、大きく成長することを期待して名付けられました。学生が社会で活躍するための活動の場、講演会・シンポジウム、各種セミナーなどが開催できる場として、日々幅広く利用されています。

## 情操教育の理念を基に 「中部大学音楽祭」

中部大学の冬の音楽イベントとして開催されている「中部大学音楽祭」は、1976年1月19日、学園が設置する3つの学校の学生生徒による吹奏楽部が合同で行った演奏会「三浦学園音楽祭」を開いたことに始まります。各校の吹奏楽部が日頃の練習の成果を披露したもので、情操教育の一環とするとともに、かつて吹奏楽の振興に力を入れていた創立者の遺志を具現化したものでもあります。以来、三浦学園音楽祭は第29回目まで開催した後、中部大学春日丘高等学校、中部大学第一高等学校はそれぞれ独自に演奏会を行うまでに成長し、独り立ち。2004年に新たにスタートした「中部大学音楽祭」は、今年の12月11日に第18回目として開催予定です。



### 故三浦昌夫学監による 創立者を偲ぶ言葉

「一高では、早くから部活動であるブラバンドに力を注がれ、ロサンゼルスにまで遠征するほどの腕前を上げました。それが今日の春日丘高校、中部大学の音楽関係クラブの充実につながっています。工業高校であったので、創立者は余計に情操教育の必要性をより強く感じられたでしょう」



## 私の格言

「偶然は天の配剤である。  
振り返ったとき、  
偶然は必然となる。」

そのときは偶然と思うことも  
振り返ると全てが必然。

ビジネスには、出会いが大きな影響を及ぼします。出会いは、人だけでなく、技術、市場など多々ありますが、その多くは偶然によるもので、出会いを大切にすること、出会いの意味を問うこと、あわせて機会を失しないことが大切です。私自身、学生時代は広告代理店に入りたいと思っていました。友人の思いがけない一言がきっかけで公務員に。その後、30歳のときに現在の会社へ転職し、47歳で副社長になり、今年から社長になりました。幾多の偶然に導かれて、今があると思っていますが、この偶然の重なりを振り返ってみますと、今では全てが必然だったと思えます。

しかし、偶然とは良いことばかりではありません。私は、1993年から海外事業を牽引し、マレーシア、香港と展開し、96年に満を持してタイに二万坪の工場を立ち上げました。社運をかけた大きな投資です。しかし、工場操業開始後3カ月でタイを震源としたアジア通貨危機が発生。通貨は大暴落、原材料は暴騰、市場は壊滅状態になりました。綿密に描いていたプ

ランは無に帰し、大幅な赤字回復の目処がつかず、撤退を余儀なくされました。通貨危機が1年早く来ていれば、タイ進出は無かったでしょう。この偶然を恨まなかったかといえれば嘘にありますが、自身の甘さを鍛え直し、胆力を養う機会だと捉えました。この失敗へのリベンジが、後の上海やベトナム進出の成功に繋がりを、ベトナムには現在、2工場を持ち、当社最大の海外拠点となっています。

今年1月の社長就任時に、「リージョナル、デジタル、グローバル、サステナビリティ」をキーワードにあげ、当社の成長を宣言しました。ITやAIの進化に加え、近年のパンデミックにより社会や人々の行動は大きく変化しています。また、サステナブルな社会を実現するために企業が負う責任は益々重くなっています。このような状況下にあつて、当社は、事業活動を通じて、世の為、人の為になることを果たすべき役割として認識し、社会や顧客から支持され続ける、永遠企業を目指しています。どんな偶然も前向きに捉えながら。



ダイナバック株式会社  
代表取締役社長

斉藤 光次

齊藤 光次(さいとう こうじ)氏 / 1958年愛知県生まれ。1980年南山大学経営学部卒業、同年大蔵省名古屋税関入省。1988年日本ハイバック株式会社入社。2004年日本ハイバック株式会社代表取締役社長。2005年日本ハイバック株式会社と大日本紙業株式会社が合併、ダイナバック株式会社誕生、ダイナバック株式会社代表取締役副社長。2022年ダイナバック株式会社代表取締役社長に就任。

Interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.15

# 企業人の格言



## 私の格言

「前向き、外向きに。」

### 外側から積極的に吸収して 人間の幅を広げる。

これは、かつての上司がよく使っていた言葉です。その後、とうとうしんへん入庫し2009年に理事長に就任した際、職員へ最初に伝えた言葉であり、現在は当金庫の行動指針の一つにも掲げています。何事も前向き、外向きな気持ちで取り組むという意味ですが、この「外向き」には2つの意味があります。一つはお客さまの視点で物事を考えること。もう一つは、旅行や読書、社外の人との交流など、情報入手や行動を外向きにして、外の世界へ視野を広げるという意味です。私自身、大学卒業まで多治見で過ごし、日本銀行時代は日本各地で勤務しました。その後、故郷へ戻ったときに、外を見てきたからこそ地元の良いことや強みを理解でき、一層外向きな視点が大切だと実感したものです。また、多治見の地場産業の陶磁器やタイルの製作工程には焼成や転写の技術がありますが、時代の変化に合わせてそうした技術を応用していく視点に気付けたのも、伝統産業から発展した京都の企業や文化を知ることができた京都支店長時代の経験があるからです。

近年、金融業では情報仲介が重要で、中でもビジネスマッチングは当金庫の大切な業務になっています。また、お客さまの事業にまつわる課題を解決につなげる本業支援にも積極的に取り組んでいます。お客さまの発展、地域の活性化のためには、その土地や暮らす人について知らなければなりません。そうした事情を知るためにも外向きにアンテナを張りめぐらせることが重要です。当金庫は今年創業100周年を迎えました。記念事業の一環として新本店を建設し、行動指針も作り直しました。また、多治見駅南地区の再開発事業で建設予定の商業棟にはコミュニティ拠点、「とうしんウエイプラザ」を開設予定です。ここでは、コンサルティング業務や、幅広い年齢層に向けたセミナーを行うなど金融教育にも力を注いでいきます。こうした活動は短期的に利益を生むものではありませんが、心がけているのは「年輪経営」です。一気に大きな成長ではなく、年輪を刻むような少しずつの成長を目指し、前向き、外向きな視点で地元への貢献に努めていきます。



東濃信用金庫  
会長

市原 好二

市原 好二(いちはら こうじ)氏/1954年岐阜県多治見市生まれ。1978年名古屋大学法学部卒業、同年日本銀行入行。2001年函館支店長、2004年京都支店長を歴任。2007年日本銀行退職後、東濃信用金庫入庫。2009年6月理事長、2021年6月会長に就任。現在に至る。

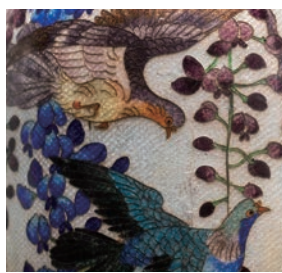
パッケージを通じて社会のあらゆるニーズに応え、社会の役に立つ企業を目指す「ダイナパック」。

「地元と共にあり、共に栄える」の精神で、地域のみなさまの発展と共に歩み続ける「東濃信用金庫」。

世の為、人の為、そして中小企業の為、地域住民の為と、それぞれの社会的使命・役割の

達成を目指すおふたりの幸友会会員企業の経営者にお話をお聞きました。





▲銅の素地の表面に銀箔を張り、その上に透明な釉薬を盛り付けた銀張七宝。華やかさが際立つ。



▲硝石や珪石などを主原料とする釉薬。色の素になる酸化した金属などを混ぜてつくる。

▲高さ152cmの花瓶、「間取り花鳥文大花瓶」。明治中期の作品。



# ふらっと美術館めぐり

名古屋市の西に位置する「あま市」。月に一度、境内でマルシエが開かれる甚目寺観音があるのも「あま市」。日本で唯一、漬物の神様を祀っている神社があるのも「あま市」。今回は、そんなあま市が世界に誇る伝統工芸品、「尾張七宝」をテーマにした総合施設を訪れました。

元号が令和に変わった翌月、天皇后兩陛下が初の地方訪問で視察された施設が、「あま市七宝焼アートヴィレッジ」だ。開館は2004年、七宝焼の施設を望む住民からの声を受けて、愛・地球博が開催される前につくられた。

敷地内では、作品展示ゾーンのほか、製作工程の中のとある一工程を職人が日替わりで行うゾーンがあり、職人の仕事を間近で見ることが出来る。また、七宝焼の小物を作る体験ゾーンでは、自分だけのオリジナル作品づくりを楽しむこともできる。そんな製作体験をすると気付くのだが、七宝焼は焼き物であるが陶磁器のように土が材料ではない。金属（銅）がベースなのだ。陶器の仲間と間違われることも多いそうだが、金属で形作られた素地の上に色のついたガラス（釉薬）をのせて焼き付ける。急熱急冷が基本で焼成の時間は至って短く、窯に入れている時間は物にもよるが分単位だ。また、七宝という名前は、仏教の経典にある7つの宝物に由来し、その宝物に匹敵する美しさから七宝焼と呼ばれるようになった。歴史は古く、古代エジプトと言われ、ヨーロッパ

からシルクロードを通り日本へ伝わった。

古墳の副葬品や正倉院の宝物にも七宝製品はあるが、実はその作る技術が今に続いているわけではない。近代七宝と呼ばれる現在の七宝焼は、現在の名古屋市中川区に住んでいた梶常吉かじつねきちというメッキ職人が七宝焼に興味を持ったことに端を発する。江戸末期、オランダ船が持ってきた七宝を手に入れることに成功し、その中身が金属の構造だと知り、研究を重ねて再現に至った。その後、遠島村（現・七宝町）に住んでいた林庄五郎はやししょうごろうが技術を伝授してもらったことで、村の産業として発展していった。

建物内の作品展示ゾーンは大きく4つに分かれている。歴史や製作工程、技法の紹介と名品を展示するエリアだ。製作工程の紹介では、当時の道具とともに七宝焼がどのように作られていたかがわかる。素地作り、絵付け、植線しよくせん、施釉せゆう、焼成、研磨、覆輪付けふくりんづけという工程で、道具は多少違えど、基本的に今もほぼ職人の手作業だ。中でも大変な工程が釉薬製作だ。と教えてもらった。色彩の美しさが七宝焼の特徴でもあるが、とりわけグラデーション





▲七宝焼を焼く電気炉。温度は700℃～800℃。



植線の様子。素地の下絵にそってリボン状の銀線を、植物性の糊で立てながら貼り付けていく。



◀孔雀羽根文六角銀胎花瓶

花鳩園花瓶 ▶



孔雀に牡丹文大皿 ▶



日本の七宝が世界に知られるようになったのは、万国博覧会への出品から。写真は、1893年のアメリカ・シカゴ万博に出品された「帽子掛け」。



### あま市七宝焼アートヴィレッジ

〒497-0002 愛知県あま市七宝町遠島十三割2000番地  
TEL.052-443-7588

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

※最新情報はホームページでご確認ください。

<https://www.shippoyaki.jp/>

## イベントのご案内 「尾張七宝新作展」

2022年12月2日(金)・3日(土)・4日(日)  
9時30分～16時30分(4日は16時まで)

あま市内と名古屋市内の窯元の職人による新作展を開催します。12月4日(日)は七宝職人が全工程に勢揃いして技を披露する「七宝職人大集合」の日。普段見られない工程を一堂に見られる貴重な機会です。ぜひお越しください。

また、技法を知るエリアでは、尾張七宝ならではの特徴が見て取れる。技法には、オーソドックスな有線七宝のほかに、無線七宝、盛上七宝、陶磁胎七宝、銀張七宝など、その他たくさん種類があるが、このバリエーションこそが尾張七宝の特徴だ。七宝焼は京都や東京にも広がり、人間国宝に匹敵する帝室技芸員がいる一方、尾張にはそうした作家はいない。芸術よりも技術を追い求めた結果なのだろう。この釉薬の色を生かすために銅の素地の上に銀を張ってみよう、“部分的に

張れば明暗ができて面白いのでは、“そんな試行錯誤が技術を発展させた。中には素地の銅を腐食させて取り除き、一見ガラス製品のような七宝焼(省胎七宝)もある。そんなアイデアと工夫を重ねてきたのが尾張七宝の職人なのである。ただ、時代の流れもあり後継者不足は否めない。一筋縄ではいかない職人の世界、技術の習得の苦労は計り知れない。でも、技術を新たに開発していく可能性を秘めているのが尾張七宝の魅力のような気がする。モノづくり王国・愛知と呼ばれるように、技術を追い求める気質があったからこそ発展した町の伝統工芸。七宝を町の名前に冠した責務として、七宝の魅力を後世に残してほしいと強く感じた。そのためにもぜひ一度、いや一度と言わず何度か足を運び、七宝焼の奥深さを知ってほしい。そう、ここは「あま市七宝町」、七宝焼の聖地なのだから。

ンは手間がかかる。七宝の釉薬はガラスの粉。赤と白を混ぜればピンクになるというものではない。色に段階をつけるには、それだけ色数を作る必要があるのだ。ガラスを溶かして固めて冷まして砕いて粉にするという作業を繰り返す。その根気と手間の多さを知れば、その美しさに感嘆せずにはいられない。

また、技法を知るエリアでは、尾張七宝ならではの特徴が見て取れる。技法には、オーソドックスな有線七宝のほかに、無線七宝、盛上七宝、陶磁胎七宝、銀張七宝など、その他たくさん種類があるが、このバリエーションこそが尾張七宝の特徴だ。七宝焼は京都や東京にも広がり、人間国宝に匹敵する帝室技芸員がいる一方、尾張にはそうした作家はいない。芸術よりも技術を追い求めた結果なのだろう。この釉薬の色を生かすために銅の素地の上に銀を張ってみよう、“部分的に



# 研究室訪問

シーズ紹介



## 深層学習

深層学習を活用した技術が  
幅広く実応用されることを  
目指して。

01

工学部 情報工学科 やました たかよし 山下 隆義 教授

専門分野 | 画像処理・パターン認識、深層学習、機械学習  
研究テーマ | 深層学習を活用した画像認識の研究

### 物体を高精度に検出する アルゴリズムの実現。

人は目から外界の情報を取り込み、何がどう動いたかを認識しています。その認識過程をコンピュータで行う技術が「コンピュータビジョン」です。現在、この技術は自動運転やロボット制御のほか、監視カメラシステムのセキュリティ分野や高齢者施設の見守りなど、カメラがあるあらゆる場所で活用されています。中でも山下教授が行っている研究の一つが、「自動車の車載カメラから人や自動車の位置を検出する物体検出とセマンティックセグメンテーション」です。セマンティックセグメンテーションとは、画像の構造を理解して、道路や標識の領域を特定するアルゴリズム。自動車が走る際に、走行レーンや対向車、建物、人、信号機といった情報をまとめて獲得して細かく分類するという技術です。そのためには高い処理能力が必要ですが、目指しているのは、高スペックのパソコ

ンでなくても高精度な処理ができるようにすること。また、「人工知能が学習する上では一般的に大量のデータが必要ですが、そのデータが少なくても判断できる学習技術も目指しています」と語るように、コストを抑えた機能の高度化を進めています。

### 人工知能技術の研究を 別の分野で生かす。

コンピュータビジョン分野を軸に関連分野の人工知能やパターン認識について研究してきた山下教授。しかし、今後はその研究を別の分野に応用したいと語ります。「コロナ禍以降、DXが進み、教育分野でもデジタルデータが溢れています。例えば、学生の学習活動やレポート、あるいはパソコンにログオンした時間や資料を見ている時間、次のページへ進んだタイミング等のデータを集めて人工知能が解析することができれば、ドロップアウトしそうな学生を早期に見つけて救済

したり、優秀な学生を発掘して伸ばしたりすることができるとも語ります。また、「予見。既に、企業が採用時にエントリーシートの判定を人工知能が行うことでコストの削減を実現しているように、教育分野でも人工知能を活用した解析をもとに教材の改善を行えば、教育の質の向上につながることも考えられます。大学という教育機関に属しているからこそできる研究にも取り組んでいきたい」と語る山下教授の目には、一歩先の新たな教育の姿が見えているのかもしれない。



セマンティックセグメンテーションの実行例



7学部と大学院6研究科を擁する総合大学として知的資産を集積する中部大学。  
さまざまな学問分野を網羅する数多くの研究室から、今回も4つの研究室を訪問しました。

産官学連携あるいは事業化等にぜひご活用ください。



## 日本中世史

# 南北朝・室町時代の 公武関係と権力構造を 史資料から読み解く。

02

みずの ともゆき  
人文学部 歴史地理学科 **水野 智之** 教授

専門分野 | 日本中世史

研究テーマ | 室町時代の政治史、公武関係、東海地域史、社会科教育

### 従来の公武関係研究に 新たな視座を提示。

南北朝時代から室町時代（15世紀）の中世史を専門分野とし、中でも朝廷（天皇）と幕府（将軍）の関係、いわゆる「公武関係」が水野教授の研究テーマ。中世の支配体制や国家の在り様をどのように把握するかを研究しています。「南北朝時代では朝廷が二つに分かれて対立しますが、幕府と結ぶ北朝優位で進み、基本的には幕府を実質的な国家的権力と見なすのが長い間の通説でした。しかし、武士が勢力を強めている状況下でも、なぜ天皇制がずっと続くのか、学界でも常に疑問が提起されてきました」。そうして2000年頃、史料に基づき、15世紀の朝廷も国家的権力として実質的な役割を果たしていたという公武関係像を発表。当時は幕府権力重視の立場から反発や批判もありましたが、幕府が朝廷を支えている構造を明らかにしていくと、朝廷や公家

の研究をする若い研究者が増え、15世紀に対するイメージが幕府一辺倒から朝廷を支える将軍へと変わっていったそうです。天皇と将軍のどちらか一方に偏るのではなく、公正な立場で当時の実態はどうであったかを純粹に見ていく。これが水野教授の研究スタイルです。

### 自治体史編纂を通じて 東海の歴史を考察。

今後の研究については、15世紀から一歩進めて16世紀の戦国時代における朝廷と幕府の役割を江戸初期にどうつなげるかを考えていきたいと語ります。「信長と秀吉は天皇を称える勤皇思想があり、それゆえに全国を統一できたとかつて言われましたが、実際どこまで崇敬の念があったのか疑問があります」と中央の研究への意欲を見せる一方で、地域史の研究も進める水野教授は、東海エリアの自治体史の編纂にも多く関わっています。「地域においてどのようなことに価値があったの

か、いかなる文化状況なのかをその地域の人もよく知ってもらいたい」と言うように、地域の文化財を長期にわたって保存し、次の世代へ伝えていくには、その重要性を認識する人を増やしていくなくてはなりません。「東海地域の人々は自分が住む土地の歴史に興味があり、どのような気質であるのか」という関心は高いけれども、地域研究はまだ弱いです」と分析。まずは、自分と関連の深い場所や人についての歴史を知ることが、地域研究を盛り上げる一歩になりそうです。



左から「室町時代公武関係の研究」と「名前と権力の中世史」。どちらも水野教授の単著。

# 質問票調査と 特許分析の両輪で 企業経営へ示唆を導出。

03

はまだ ともみ  
経営情報学部 経営総合学科 濱田 知美 講師

専門分野 | 経営学

研究テーマ | 技術経営



## 人の行動や考えを 数値化して分析。

製造業の経営を経営学の視点で考えるとき、技術の管理、すなわち製品の設計、生産、販売というあらゆる工程において技術の観点が必要になってきます。その技術を、人や予算といった限られた資源をいかに使って管理していくかを分析するのが「技術経営」です。中でも濱田講師が行っているのが、質問票を用いた意識調査。たとえば、統計的に解析するためのデータとして、従業員のパフォーマンスやモチベーションに影響を与える要因を集め、一貫性のある因果関係を抽出するために分析し、最終的に企業の経営者や管理職へ組織の管理運営のための示唆を出すというものです。「調査を行う際に常に心がけているのは、現場の声を聞き、現場を見ることが一番」と言うように、さまざまな立場の人が回答するときのことを想像して質問項目を作成。ときにはプレ調査を行い、平均値にも考慮

しながら念入りに準備を進めます。一方で、近年では、「これからのテレワークのあり方」といった社会のニーズに応える委託研究も行い、報告書(写真)としてまとめています。

## 特許分析を通して 多角化への影響を探る。

濱田講師が力を注いでいるもう一つの研究が、企業の業績と技術のマネジメントの関係性を、特許情報を集めて分析する「特許分析」です。日本の家電メーカーを対象に、市場シェアや売上、申請特許数などのデータをを用いて、どのような技術に投資をしているか、共同研究のネットワークが技術のマネジメントにどう関係しているか、新技術や新事業が生まれる際の際の条件は何かなどを分析しています。「家電メーカーによって、参入する事業やどの分野の研究開発に着手していたかが特許に現れます。それが今の企業の多角化にどうつながっているのか、さらに企業ごとに収益性



委託研究の報告書(右)と、大学院進学を決めたきっかけの本、「インベーションのジレンマ」(クレイトン・クリステンセン著)の訳書と原著。

にバラつきがあるのはなぜかということを、特許分析を通して明らかにしています」。しかし、多角化の問題は長年議論されていながら明らかにされていないことも多いと語る濱田講師。「一度は世界を席巻した日本の家電メーカーでさえ、企業によって業績のバラつきがあることを考えれば同じ現象が後進メーカーに現れると思います」と言うように、普遍的な現象が繰り返される企業経営に、技術経営が果たす役割はますます高いと言えます。



中部大学産官学連携推進課では、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

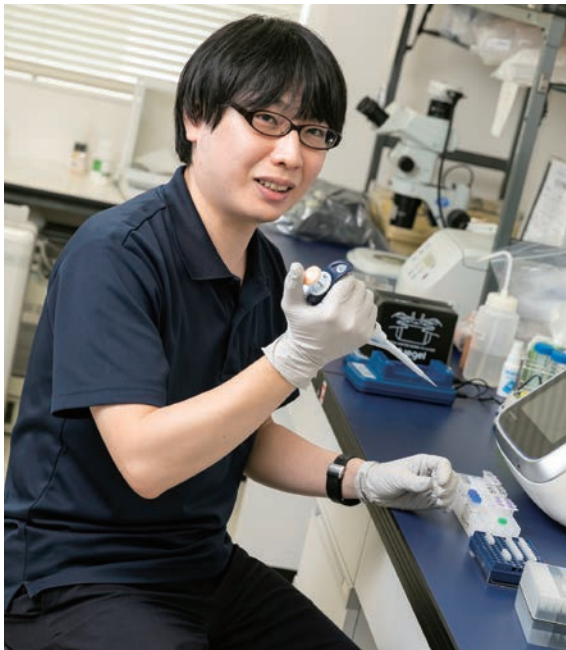
産官学連携推進課

0568-51-4852 (直通)

中部大学教員の研究内容を紹介

中部大学研究紹介

検索



## 分子遺伝学

# 新規ゲノム編集技術の 開発と臨床応用の 基礎構築。

04

いわた さとる

実験動物教育研究センター 岩田 悟 助教

専門分野 | 分子遺伝学、生理学

研究テーマ | マウス染色体再編成の最適化と臨床応用の基礎構築

### 治療法開発に貢献する モデル動物の作製。

「実験動物教育研究センター」では、遺伝子組み換えマウスや特定の遺伝子を欠損させたマウスなどのモデル動物の作製を行っています。中でも岩田助教が進める研究は、染色体レベルでの新しいゲノム編集法の開発です。従来は、変更を行いたい箇所をピンポイントで編集して書き換える手法でしたが、今はより大きな情報、設計図を書き換える研究を進めています。「遺伝子の変異によってガンや先天性の疾患を発症するリスクがあるゲノムを解析すると、実際に染色体異常が見つかります。従来、その異常を再現したモデル動物の開発は難しかったのですが、よりダイナミックな染色体の変更を行うことで、治療に役立つモデル動物を簡便に作製できるようにになりました」とのこと。具体的には、下図のように、マウス内の受精卵に電気を流してゲノム編集の試薬を導入させる手法（電気穿孔法）によって、ゲノム

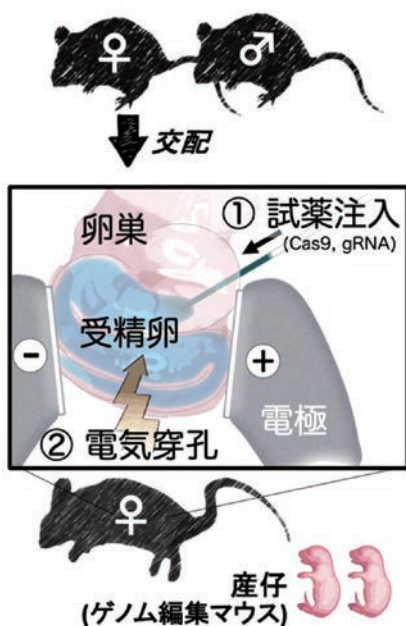
編集マウスの作製を高效率・低コストで実現しています。

### 明確なビジョンと根性で 世界一を目指す。

「ゲノム情報を書き換えることで、誰も見たことのない形態を示すかもしれないし、見たことのない生理学的な特徴を示すかもしれません。そうした新しい生命体に世界で初めて出合えることは研究者としての醍醐味です」と語る岩田助教が意識しているのは、「世界で一番になること」。そのために必要な要素はという問いに、意外にも「気合と根性」との回答。かつてノーベル賞を受賞した山中伸

弥氏の「明確なビジョンを持つことも大事ですが、ハードワークもしなければならぬ」という言葉を挙げ、一番手と二番手にはインパクトに段違いな差があることを教えてくださいました。今後の取り組みについては、「染色体異常がある患者さんの体を直接かつ効率的に元に戻すことも考えています」というように、医療応用も目指しているとのこと。「学生でも容易に染色体を自在に変更できる手法を得ることができれば、世界中の研究者や治療法を欲している人の役に立てるのではないかと考えています」と語る岩田助教。常に新手法を追究し続ける言葉が印象的でした。

■電気穿孔法によるゲノム編集





# 見直そう「清潔ケア」

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 准教授／看護師・保健師 おかむら ゆきこ 岡村 雪子

私の大好きな漫画のひとつに「のだめカンタービレ」があります。二ノ宮知子さんによるクラシック音楽をテーマとした人気作品で、TVドラマ化もされました。作品中、主人公の音大生のだめが「おフロは1日おき、シャンプーは5日おき」と述べ、居合わせた人に驚かれるという一コマがあります。皆さんはいかがでしょうか。驚いた方もあれば、それほど驚かないという方もいらっしゃるかもしれません。私自身看護職として患者さんの清潔ケアに携わってきた経験からも、清潔ケアの方法や捉え方は人それぞれに違いがあることを実感しています。

清潔ケアの正解は決してひとつではありませんが、ご自身の心身の健康を保ち、健やかな毎日を送るためにも、心地よい清潔ケアのあり方を今一度見直してみましよう。

## 1. 清潔と心身の健康との関連

清潔な身体とは、具体的にどのような状態をいうのでしょうか。例えば、皮膚、粘膜、髪、爪などが汚れていないこと、かゆみ、臭い、べたつきなどがないこと、外見的にも整えられていること、何より自分自身が快適であることなどが挙げられます。これらは主に人間の目（視覚）と鼻（嗅覚）で判断されているのです。

清潔を保つ日常生活行動（ケア）としては、歯磨き、口腔ケア、洗面、鼻をかむ、耳かき、入浴、シャワー浴、手浴、足浴、洗髪、手洗い、爪きりなど、多岐にわたっています。

清潔を保つことがなぜ大切なのでしょうか。まず身体面から見ると、皮膚や粘膜の機能を健全に保つことで、かゆみなど不快な症状を抑えることにつな

がります。皮膚だけでなく、身体筋、神経、循環、呼吸機能も影響を受けています。

清潔であることは心にもよい影響を及ぼします。爽快感や満足感を得る、気分転換を図るなどといったことが挙げられます。「清潔にすることは気持ちが良い」という感覚は老若男女、多くの人が日々感じていることと思います。

清潔感を保つことは社会人として必須マナーのひとつでもあります。それは対人関係、ひいては業務遂行を円滑にすることにもつながります。

自分自身で清潔を保てない状況もあります。例えば、子どもの場合、新陳代謝が活発で皮膚が汚れやすくなります。皮膚の抵抗力も弱いことから皮膚炎など起こしやすく、全身の抵抗力も弱いため、粘膜の感染や陰部での感染などを起こしやすいといった特徴があります。また、





子どもへの清潔ケアは病気の予防だけでなく、スキンケアを促すことにもつながっていきます。

何らかの病気(動作や移動が困難、治療のため安静が必要、意欲が低下しているなど)にかかっている人においても清潔ケアは欠かすことができません。

看護学生の時、ナイチンゲールの著作「看護覚え書」を読み、身体の清潔を保つ重要性和、だからこそ看護師は清潔ケアをおろそかにしてはいけないことを学びました。ナイチンゲールの時代も現代も、療養中の人々とつて清潔を保つことは回復力を高めるため必要不可欠です。

## 2. 足の清潔を保つ

清潔ケアは多岐にわたりますが、今回は第2の心臓とも呼ばれる足の清潔保持を考えてみましょう。足の清潔が保たれると、心身の健康にもよい影響があります。

年齢を重ねるにつれ、足のトラブルが増える一方、足の清潔保持が難しくなる状況が生じやすくなります。足のトラブルにつながりやすい要因のひとつとして、体内の水分量が減少し乾燥肌になる傾向から、わずかな

刺激でもかゆみを感じやすくなることがあります。炎症につながらないよう、日頃から保湿を心がけたいですね。また、免疫力が低下すると、感染症にかかりやすい、傷や怪我が治りにくいといったことも起こり得ます。視力の低下、足の変形や障害などが足の清潔保持に影響することもあります。

足の清潔を保つことで足のトラブルを早期に発見しやすくなります。早く見つけて治療することで悪化を防ぎましょう。治療により痛みが軽減すると日常生活でできることも増え、長期的に見れば寝たきりや閉じこもりの予防にもつながります。感染症の予防や転ぶこと(転倒)の予防にもつながります。

まずは毎日、ご自身の足を点検してみましょう。観察項目として、爪の変形や変色、皮膚の乾燥や亀裂、切傷やすり傷、腫

れ、痛み、皮膚の変色、たこ、うおのめ、靴ずれ、冷感、むくみなどが挙げられます。ご自身の足を目で見て、触れてみることから始められてください。フットケア外来を設けている医療機関もありますので、心配な方は一度ご相談されるとよいかもしれません。

## おわりに

清潔を保つことの原点は「きれいにすることは気持ちがいい」という体験ではないでしょうか。それは自分へのいたわりでもあり、他者へのいたわりにもつながっています。人間の一生において、人の尊厳を保つ行為でもあります。清潔ケアについて知っていただき、それがご自身の清潔習慣を見つめ直すきっかけとなりましたら幸いです。



# 人生の分岐点で いかに選択するか

かのシェイクスピアの名言にも「人生は選択の連続」とあるように、現在の自分を形づくっているのは、過去の選択肢から選び取った結果だと言えるのではないのでしょうか。一生を左右するような分岐点に差し掛かった時、人は何を基準にどのような歩み出せばよいか。応用生物学部の前島正義教授にお聞きしました。



## 今回お話を伺った方

中部大学 学長補佐  
応用生物学部

まえしま まさよし  
**前島 正義** 教授

名古屋大学大学院農学研究科農学化学専攻博士課程修了。農学博士。植物の水輸送と水チャネルに関する分子メカニズムの研究で世界的に注目される。2018年日本植物生理学会賞。2020～21年日本植物生理学会会長。名古屋大学では副総長として大学院教育改革などに意欲的に取り組む。2019年4月より中部大学。



「前島先生は、多くの大学で実績を重ねられていますね。」

名古屋大学の博士課程修了後、米国のカリフォルニア大学に博士研究員として籍を置き、帰国してからは名古屋大学農学部の助手を経て北海道大学の低温科学研究所へ赴任しました。大隅良典先生のノーベル生理学・医学賞受賞で注目を集めた岡崎国立共同研究機構（現・自然科学研究機構）の基礎生物学研究所で客員助教を務めたこともあります。中部大学の教授に就任する前は、名古屋大学の副総長として博士課程のリーディングプログラムや大学IRを担当し、多くのプロジェクトを牽引しました。

研究者としての専門分野は、植物生理学です。植物が水だけを選択して輸送するプロセスを分子レベルで解明し、世界で初めて発表しました。この研究テーマは、私が学生の当時、なかなか成果を得ることが難しいとして敬遠されがちな分野でした。若かったからこそ障壁の高さを理解できておらず、やってみようという強い気持ちで挑戦できたのです。チャレンジは、若い人が持つ特権ですね。

「最近の若者は挑戦よりも安定を好むと聞きます。」

学生たちの就職の傾向は大手志向、安定志向ですよね。先行き不透明な企業では、親御さんからお許しをいただけません。日本でも大学内でベンチャーを起業できる時代になり、この10年ほどはさまざまな大学で試みられています。多くが売上や利益が生まれるまでに至らず「死の谷」にたてられる状況は企業と同様。1000立ち上げたうちの1事業が育つかどうかです。そもそも、成果を約束できない挑戦では、株主が納得しないでしょう。国の助成金も、見通しが確実な事業や政策目的の達成に寄与するアイデアに交付される仕組みになっており、世の中全体がお行儀の良い優秀者を育てる流れになっているのです。

私の出身地である静岡県浜松エリアには、やってみようかという意味で「やるまいか」という言葉があります。浜松は、テレビ開発で知られる浜松ホトニクスや自動車メーカーのスズキ、本田技研工業、河合楽器製作所などが町工場からスタートして日本を支える産業へと育っていった土地柄



です。ただ、世界の視点で見れば、それらはすべて「かつての日本の業績」。過去の功績を壊してでも、もう一度、新しいものを生み出そうという気概で挑戦していかなくては。みんながみんなチャレンジすべきと主張したいのではありません。百人に一人で十分なので、大きな流れにおもねることなく冒険できる人が出てきてほしいと思います。

—おもねることのない人生を選ぶには勇気が必要です。

本当にそうですね。たとえば、私たち研究者の世界では、実験と検証の成果を学術誌に発表して、次の課題へと歩みを進めます。発表論文の積み重ねが研究者の業績であり、それが大学や研究所のポストや研究費の獲得へとつながるのです。しかし、単にレンガのように積み上げるだけで満足しているのは、挑戦の意欲は減じてしまいます。次の道を切り拓くには、現状を良しとせず、新しい研究分野に挑む勇気が必要です。

振り返れば、私は多くの研究者が注目する対象や現象ではなく、誰も手をつけていない生物機能分子に新

しい光を当てたいという一心で、研究に取り組んできました。実験や研究を重ねてみなければ成果が出るかどうか一切わからない泥臭い研究です。そのような研究者人生で選択肢を前にした時に繰り返し思い出した本があります。ロマン・ロランやアラン、ガンジーとの交流でも知られる彫刻家の高田博厚氏の回想録、『分水嶺』です。彼がフランス在住時代に制作した彫刻作品を一度すべてガシャンと壊してしまい、白紙に戻した潔さは忘れられません。「読書は、その人の血肉になる」とも言われますが、記憶に残り続ける本はさほど多くなく、忘れられない一冊と出会えたことは幸せなことだと思っています。

—『分水嶺』とは、まさに分岐点のことですね。

私たちの前にはいつでもわかれ道があり、いずれかを選択しながら生きています。それを著者の高田博厚氏は、分水嶺にたとえたのですね。

わかれ道で大学あるいは企業が挑戦の道を選ぶ姿勢は、伝統としてきちんと積み上がっていくものです。どこに視点を置き、どのように切り込

んで取り組むのかというところに組織の特徴が現れ、それが歴史に残る大学や企業の姿となっていくのだと思います。私は、中部大学に赴任してから、春日井市の特産品でもあるサボテンの研究を学生とともに新しく始めました。サボテンがなぜ乾燥状態でも水分を保てるのか、ゲノム解析を通してメカニズムを分析していくつもりです。私たちが進めているのは基礎研究であり、現実に直接役立つことを目指しているわけではありません。研究者は、複雑なことを複雑なまま

証明して、応用への道筋をつけた人ばかりです。

「恵まれた人、選ばれた人、チャンスを得た人には、聖なる仕事が待っている」と、聞いたことがあります。人生は、必ずしも夢や希望通りに進めるとは限りません。努力が結果につながることは少なく、偶然や人との関わりなどの影響も大きいでしょう。しかし、自らのためではなく、周りの人のために動く姿勢の先に、チャンスが巡ってきます。このような挑戦の連続が、これからの社会を変えていくのではないのでしょうか。



## Book Review

前島正義先生の

## 私の一冊

「分水嶺」 高田博厚 著 岩波書店 (岩波現代文庫)

鮮烈な衝撃をもった本であり、20代で読み心に残り続けている。著者は彫刻家として知られ、その作品は高く評価されている。第二次世界大戦をはさんで27年間フランスに住んだ。経済的には貧窮していた。その間に制作した彫刻の二百数十点を壊して1957年に帰国した。大戦前夜の暗い谷間の時代に、作家のロマン・ロラン、哲学者のアラン、ガンジーら、影響力の大きな知識人と交友し、彫刻の対象ともした。残された彫刻には、それぞれの深い人生が現れていると感ずる。自然科学の研究者は実験を展開し論文を発表し、人類の知的財産として研究成果を積み上げる。当時大学院生であった私には、人生そのものでもある彫刻を自ら壊す行為は衝撃的な生き方として映った。その時々分水嶺(分岐点)で、今をよしとせず、より遠く、より高い地点を模索しながら生きぬいた著者の記録である。



# 幸友会会員企業を訪ねて

会員企業の魅力とともに、中部大学や併設校の卒業生を紹介する「幸友会会員企業を訪ねて」。

現在活躍中のOB・OGに、会社の特徴とご自身の仕事への想いを語っていただきました。

File 01

<https://iec-jpn.co.jp/>

## 株式会社IEC

**住所** 〒465-0024  
名古屋市名東区本郷2-160

**電話** 052-774-1011 (代表)

**代表取締役社長** 青木 秀人

**設立** 1960年3月1日

### 事業内容

塗装、接着、充填をハンドリングし、幅広い流体製品の中から、それぞれの用途に応じて最適なシステムを設計し提案。自動車関連部品、塗装プラント、電気・電子、建築・建材、医薬・食品、生活関連製品等、産業分野は多岐にわたる。



IEC Laboratory

株式会社IEC  
技術本部 次長  
兼 設計開発部 次長  
にしだ まこと

西田 誠さん

中部大学  
工学部 機械工学科  
1999年度卒業



本社受付



IEC Laboratory業務風景

流体のハンドリングで  
製造の現場を支える。

当社は、塗料や高粘度材料をはじめとする「流体」の移送供給システム構築を事業の柱とする技術商社です。もともとは、1960年の設立当初、世界的ポンプメーカーである米国のグラコ社の代理店として機器を販売したことが始まりです。以来、お客様のご要望に応じていく中で、販売に加えて設計、開発、施工、アフターフォローまで手掛ける設備商社として成長してきました。現在は、ポンプやスプレーガンなどの塗装機単体の提案だけでなく、生産システム全体のコーディネートまで行っています。当社が愛知県のため、自動車関連の比重が大きいです。そのほかにも航空機、建設機械、住宅など、当社の流体ハンドリングの技術は、さまざまな産業分野の生産工程に活用されています。近年では、2020年に設立60周年の記念事業として、技術開発機能を集約した施設、「IECラボトリー」を名古屋守山区に新設。お客様が使用する条件に合わせて機器の機能検証を行っています。

陸海空から大気圏外へ。  
近い将来、宇宙の仕事に。

私は現在、設計開発部に所属し「ラボ」で働いています。設計は図面を描くことが仕事ですが、開発では設計したものを協力会社で製造し、自ら組み立て、実験し、稼働の現場へ行くこともあります。あらゆる工程に一貫して携われることにやりがいを感じますが、近年は管理者としての立場上、後輩社員に任せる部分も多くなりました。自分が経験したことが若手社員も同じようにできるといった自分の経験が上手く伝わっていることにはうれしさがあります。後輩が過去の自分と同じ失敗をしたときには、自分の経験を語ることで後輩を成功へと導けることは喜びでもあります。そんな私たちが社員が今目指しているのは、宇宙の仕事に携われること。これまで陸海空のさまざまなものを手掛けてきましたが、大気圏を超えたものはありません。今後ロケットの打ち上げが増えれば、塗装も自動化になるはず。今まで培ってきた技術と挑戦する気持ちで新たな活躍の場を広げていきます。

掲載企業  
大募集!

中部大学幸友会会報誌幸友Vol.26は2023年11月末日発行予定です。ただいま、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会事務局

TEL.(0568)51-4740(直通)

File 02

<https://www.takeda-prn.co.jp/>

## 竹田印刷株式会社

住所 〒466-8512  
名古屋市昭和区白金一丁目11番10号

電話 052-871-6351(代表)

代表取締役社長 木全 幸治

創業年月 1924年1月

### 事業内容

カタログ・パンフレット、美術印刷物、書籍等の商業用・出版用印刷物の企画・デザイン・印刷／マルチメディア関連の企画・制作／半導体関連各種マスクの設計・製造・販売および機械機器類の販売／文具・日用雑貨等のネット販売



本社社屋

竹田印刷株式会社  
ソリューション本部 制作第1課  
制作1課

あらかわ あんな  
荒川 杏菜さん

中部大学  
人文学部 コミュニケーション学科  
2021年度卒業



普段の編集風景



自分で撮影にも行きます

印刷物だけじゃない  
多種多様なソリューション。

印刷物・販促物の企画・制作、生産から納品、物流までが当社の主な業務内容です。DX化の進む近年は、動画やWeb、イベント、ネット通販、半導体関連マスク事業など、お客さまの抱える課題に対して幅広く対応。印刷物に限らない多種多様な製品・サービスを複合的かつ効果的に組み合わせたワンストップソリューションの提供により、お客さまの課題解決を総合的に支援しています。また、当社は1924年の創業以来、「ハード×ソフト×ハート」でお客様満足度Nº1企業を目指すという経営理念を掲げて事業を展開してきました。整った設備の中で、高い技術力と情報力を持ち、お客さまに寄り添った製品やサービスをお届けしています。2022年の今年、創業から98年目を迎えました。長い歴史の中で培った信頼と安定の基盤に加えて、常に新しい分野へ挑戦し続ける社風を持ち合わせています。現在は、2年後の100周年に向けて、事業活動を通じて社会に貢献しながら、企業価値の向上と持続的な成長を目指しています。

お客さまと共に作り上げる  
ディレクターを目指して。

私は現在、主に映像制作に携わりながら、Webや展示会に関連するデジタルコンテンツの制作も行っています。7月までは社内編集作業を行っていましたが、8月からは実際に現場へ足を運び、カメラで撮影したり、アシスタントディレクターとしてスケジュール管理や制作進行、見積りも作成したりしています。企画段階から携わるため、自分が考えたアイデアが映像として形になり、お客さまのもとに納品されて良い反応を聞くことができました。先輩に教えていただきながら、今はお客さまと一緒に作り上げることができるよう一人前のディレクターになるべく勉強の毎日です。学生時代に、生放送の配信を行う放送研究会やプロジェクトシンマッピングを作る学生団体に所属して行ってきた映像制作が今に生きています。現在、スタジオを新設中ですが、その内装やレイアウトにも関わることができ、責任は大きいです。喜びもあります。今は完成が楽しみです。



# オンラインか対面か、 3年目に起きた変化とは？

説明会も面接もオンラインで実施。中には一度も対面で会うことなく内定を獲得し就活を終えるなど、オンライン化の傾向が強まった昨年に比べて、コロナ禍3年目を迎えた今年はどうだったのか。オンラインか対面かで実施方法に迷う場面も多かった今年の就職活動についてお話を伺いました。

取材日…2022年10月20日 話し手…中部大学キャリア支援課長 渡邊真和氏



2021年度就職状況(3月卒業生)

2022年3月31日現在

中部大学	学科	卒業生数 (人)	就職内定者 (人)	幸友会会員法人への就職		
				法人数 (法人)*	人数 (人)	会員法人への 就職率(%)
工学部	機械工学科	157	141	40	58	41.1
	電気システム工学科	2	2	0	0	0.0
	電子情報工学科	9	7	3	3	42.9
	都市建設工学科	84	76	18	28	36.8
	建築学科	93	80	19	23	28.8
	応用化学科	78	61	10	10	16.4
	情報工学科	108	78	19	28	35.9
	ロボット理工学科	63	48	20	27	56.3
	電気電子システム工学科	136	118	38	55	46.6
	宇宙航空理工学科	63	40	12	14	35.0
経営情報学部	経営情報学科	2	1	0	0	0.0
	経営学科	—	—	—	—	—
	経営総合学科	273	257	41	47	18.3
国際関係学部	国際関係学科	—	—	—	—	—
	国際文化学科	1	0	0	0	0.0
	国際学科	130	120	14	14	11.7
人文学部	日本語日本文化学科	74	66	3	3	4.5
	英語英米文化学科	59	52	3	3	5.8
	コミュニケーション学科	63	59	8	8	13.6
	心理学科	82	68	6	6	8.8
	歴史地理学科	66	57	1	1	1.8
応用生物学部	応用生物化学科	113	90	13	13	14.4
	環境生物科学科	111	100	13	13	13.0
	食品栄養科学科	108	92	3	3	3.3
生命健康科学部	生命医科学科	62	50	1	1	2.0
	保健看護学科	78	78	1	1	1.3
	理学療法学科	36	34	2	3	8.8
	作業療法学科	28	27	1	1	3.7
	臨床工学科	41	28	0	0	0.0
	スポーツ保健医療学科	68	67	6	7	10.4
現代教育学部	幼児教育学科	78	74	2	4	5.4
	現代教育学科	79	77	2	3	3.9
合計		2,345	2,048	299	377	18.4

※のべ数

	学科	卒業生数 (人)	就職内定者 (人)	幸友会会員法人への就職		
				法人数 (法人)	人数 (人)	会員法人への 就職率(%)
中部大学第一高等学校	普通科	244	25			
	機械電気システム科	83	54	8	9	11.4
	合計	327	79	8	9	11.4
中部大学春日丘高等学校	普通科	505	3	0	0	0.0

## 「ガクチカ」に悩む学生と人となりを知りたい企業。

今年度の就職活動は、コロナ禍によりさまざまな影響が出ているものの、経済活動は動き出し、企業の採用意欲も高まっています。本学への求人企業数も、現時点で昨年度の実績を千件余り上回っており、売り手市場に戻りつつある印象です。学生にとっては、入りたいと思っていた企業へ就職できる可能性が高まっているとも言えるでしょう。

一方でコロナ禍3年目を迎え、学生にも変化があります。2・3年次にいろいろな活動が制限された学生たちが就職活動を行う中で、コロナ禍前と比較すると、内面的な部分で違いが生まれています。例えば、「学生時代に力を入れたこと(ガクチカ)」を問われることに悩む学生がいますし、孤立を感じている学生もいます。「学生生活で力を注いだことは？」という聞き方の善しあしはわかりませんが、企業も人となりを当然知りたいわけですから、どのような経験をしてきたかという意味では聞きやすい質問だと思えます。では学生側はどうかと言えば、コロナ禍にあっても、できたことは多々あります。しかし、先輩たちと比較する

と、エントリーシートや履歴書に、こんなことを書いても企業は評価してくれないのではと、学生自身が自分の経験を認めない傾向が高まっています。企業担当者と話すと、今年の就活生は学生生活に支障をきたした学年で、これは学生に責任はなく、社会全体で共有する問題であると認識されています。中には、企業との面接で学生時代ではなく、高校時代について聞かれたという学生がいた例もあることを考えると、まさに企業側も努力されていると感じます。

また、選考では最終面接を対面で行う企業が増えていきます。学生側が就職先として企業を選ぶポイントとして「雰囲気良さ」を上位に挙げているように、やはり企業もそうした肌感覚をとっても大切にしている現れなのだろうと思います。特に中部地区の企業は、初期面接から対面を取り入れている割合が圧倒的に高いです。ただし、説明会については、対面またはオンラインを選択できる場合、学生にはオンラインが人気の傾向にあります。

## 時勢やニーズに合わせて適切な方法でサポート。

業界研究会は現在もオンラインで行っています。しかし、企業の皆様からは「オンラインでも良いけれど対面でも行ってほしい」というお声を頂きます。来年2月に開催予定の業界研究会は、世の中の状況にもよりますが、今ところは世の中の実施を計画しています。また、11月に行う卒業生との交流会「ようこそ先輩」は今年もオンライン開催ですが、これこそ対面で行いたいと思っているイベントです。大学を訪れる機会がなかなかない先輩方にとっては大学との接点をつくるきっかけにもなりますし、学生と直接交流することで得るものもたくさんあると思っています。対面であれば横のつながりを築くことができる可能性もあるでしょう。そうした側面は対面のメリットです。

その一方で、キャリア支援課では今年度の秋学期からバーチャル空間を取り入れています。現時点では、学生とキャリア支援課職員のみ利用ですが、こうしたツールを取り入れることで、孤立を感じている学生へのサポートや、アバターであれば相談しやすいという学生の意見にも応えられるなど、時代のニーズに合わせた支援も可能だと考

えています。今回は、学生同士の交流とキャリア支援課に足を運ぶほどではないような相談事を解決できればという思いで取り入れましたが、将来的には企業の方にもご利用いただき、こでの交流をきっかけに就職につながるような形に発展するなど、学生との新たな相互理解の場となることを期待しています。今までのように説明会の場で学生と会うだけではなく、こうしたコロナ禍により生まれた新たなツールを取り入れながら、本学の学生ともっと交流していただける機会をつくっていききたいと思っています。

### 採用担当者様へ



求人に関する  
ご相談やお問い合わせは、  
キャリア支援課まで  
お気軽にどうぞ。

中部大学キャリア支援課(不言実行館5階)

TEL.0568-51-4184(直通) FAX.0568-51-1982

E-mail:syusyoku@office.chubu.ac.jp



# 中部大学 幸友会総会報告

2022年4月27日(水)、名古屋東急ホテル・パロックの間にて、「第34期中部大学幸友会総会」が開催されました。コロナ禍により2年続けて書面開催となっていたことから、対面開催ができた当日は、マスク越しながらもこの日を迎えることができた喜びにあふれた総会となりました。懇親会(就職交流会)は感染状況を鑑み、中止といたしました。

## 3年ぶりの対面開催の中、すべての議事が無事承認。

第34期の幸友会総会は、大辻誠会長より、大勢の皆様の出席に対するお礼の言葉から始まりました。続く飯吉厚夫名誉会長の挨拶では、2023年の4月に理工学部が開設予定であること等、大学の近況報告がありました。

続いて、経済産業省中部経済産業局長の田中耕太郎氏からご祝辞を賜り、ご来賓の方々を紹介され、その後は、大辻会長が議長を務め、会則に則り議事を進めました。第33期の事業報告と収支報告および会計監査報告、第34期の事業計画案と収支予算案が審議され、異議無く承認。最後に新役員が紹介され、総会は終了しました。

総会終了後は、防災・減災のエキスパートで、現在は名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長の福和伸夫氏による講演会を開催。「温故知新と転禍為福で中部の未来を拓く」と題して、コロナ禍の次に迫り来る大震災の正しい情報と知識について、建前なしの本音トークが語られ、盛況のうちに講演会は終了しました。



### 第34期 事業計画

- 役員会・総会の開催
- 学術文化興隆のための事業として講演会の開催と中部大学公開講座の後援及び中部大学キャンパスコンサートへの協力
- 学園が行う地域交流を支援、促進するための事業
- 「2023企業ガイド・幸友ナビ」の作成及び就職支援のための事業
- 会員相互の親睦と啓発のための事業  
→交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みた上で開催を検討予定
- 産官学連携協力事業
- 幸友会会報「幸友」の発刊
- 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内及び中部大学定期刊行物等の配布
- 学園が行う“人間力を高める教育”を支援するための事業
- その他(本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

### 第33期 事業報告 (一部抜粋)

#### 2021年

4月28日	第33期役員会、総会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催に変更 講演会、懇談会(産官学・就職交流会)中止
5月7日	第33期役員会 書面開催 すべての議案について承認
5月21日	第33期総会 書面開催 すべての議案について承認
5月26日、29日 6月2日、5日	春学期学内WEB業界研究会(学部3・4年生対象)協賛 参加企業 156社 申込学生 4,900名
9月16日~30日	中部大学フェア2021(オンライン開催)協賛 特設ウェブサイトへのアクセス数834名
10月20日、23日、27日 11月6日、10日、13日、 17日、20日	秋学期学内WEB業界研究会(学部3年生対象)協賛 参加企業 474社 申込学生 3,072名
11月10日、17日	就職ガイダンス WEBによる卒業生との交流会「ようこそ先輩」開催 参加卒業生 92名 参加学生(学部2年生)3,186名
11月18日	第99回常任理事会 開催
11月30日	中部大学幸友会会報「幸友」Vol.24 発行・配布

#### 2022年

2月7日~10日、 14日~18日	2月学内WEB業界研究会(学部3年生対象)協賛 参加企業 701社 申込学生 8,670名
3月1日	「2022企業ガイド」発刊・幸友ナビ開設 掲載企業 455社 発行部数 5,000部

## 第34期 収支予算

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

### ■収入の部 単位(円)

科目	予算額	前期予算額	増減	備考
入会金	101,000	191,000	△90,000	
法人	80,000	170,000	△90,000	8法人
個人	21,000	21,000	0	7名
年会費	15,816,000	16,375,000	△559,000	
法人	14,760,000	15,280,000	△520,000	738法人
個人	1,056,000	1,095,000	△39,000	352名
事業収入	18,450,000	18,135,000	315,000	
企業ガイド	18,450,000	18,135,000	315,000	410法人
雑収入	1,000	1,000	0	
預金利息等	1,000	1,000	0	
前年度繰越金	46,936,274	40,568,921	6,367,353	
収入の部 合計	81,304,274	75,270,921	6,033,353	

### ■支出の部 単位(円)

科目	予算額	前期予算額	増減	備考
事業費	27,600,000	27,600,000	0	
講演会費	2,300,000	2,300,000	0	
産官学連携協力事業	1,000,000	1,000,000	0	
会員名簿・会報作成費	5,000,000	6,000,000	△1,000,000	
企業ガイド運営費	12,000,000	11,000,000	1,000,000	企業ガイド・幸友ナビ作成・運営費 他
就職支援事業費	5,000,000	5,000,000	0	学内業界研究会等、就職関連事業 他
キャンパス・コンサート協力費	300,000	300,000	0	
"人間力を高める教育"支援事業	2,000,000	2,000,000	0	課外活動応援援助金、幸友Library卒業生との交流会
事務費	10,000,000	14,900,000	△4,900,000	
租税公課	1,100,000	1,100,000	0	消費税及び地方消費税 他
通信費	1,700,000	1,700,000	0	
印刷費	600,000	600,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
旅費	300,000	300,000	0	
雑費	300,000	300,000	0	
事務委託費	3,000,000	3,000,000	0	
幸友会システム費	2,500,000	7,500,000	△5,000,000	アプリサービス利用料・通用保守費
支払手数料	400,000	300,000	100,000	
会議費	6,700,000	5,700,000	1,000,000	
総会費	6,000,000	5,000,000	1,000,000	
会議費	700,000	700,000	0	
その他の支出	1,000,000	1,000,000	0	
一般事業積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金	35,004,274	25,070,921	9,933,353	次年度当初運営費
支出の部 合計	81,304,274	75,270,921	6,033,353	

## 第34期 新役員

副会長	王子製紙(株) 春日井工場 執行役員工場長	横山 和世
常任理事	愛知電機(株) 代表取締役社長	小林 和郎
常任理事	王子製紙(株) 春日井工場 事務部長	森田 仁
常任理事	中部精機(株) 代表取締役社長	小道 浩也
理事	CKD(株) 代表取締役 社長執行役員	奥岡 克仁
理事	高砂熱学工業(株) 名古屋支店 理事支店長	谷口 雅之
理事	トーヨーマテラン(株) 代表取締役社長	池上 英雄
理事	明治電機工業(株) 代表取締役社長	杉脇 弘基

(法人名50音順 敬称略)※所属・役職は総会当時のものです。

## 第33期 収支報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

### ■収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
入会金	191,000	127,000	64,000	
法人	170,000	100,000	70,000	10法人
個人	21,000	27,000	△6,000	9名
年会費	16,375,000	16,770,000	△395,000	
法人	15,280,000	15,720,000	△440,000	786法人
個人	1,095,000	1,050,000	45,000	350名
事業収入	18,135,000	20,475,000	△2,340,000	
企業ガイド	18,135,000	20,475,000	△2,340,000	455法人
雑収入	1,000	721	279	
預金利息等	1,000	721	279	
前年度繰越金	40,568,921	40,568,921	0	
収入の部 合計	75,270,921	77,941,642	△2,670,721	

### ■支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費	27,600,000	19,844,341	7,755,659	
講演会・研修費	2,300,000	225,885	2,074,115	第34期総会・講演会リフレット作成費
産官学連携協力事業	1,000,000	1,000,000	0	中部大学フェア2021
会員名簿・会報作成費	6,000,000	3,958,480	2,041,520	名簿1,500部・会報2,300部 他
企業ガイド運営費	11,000,000	10,896,119	103,881	企業ガイド・幸友ナビ作成冊子5,000部 他
就職支援事業費	5,000,000	2,616,661	2,383,339	業界研究会支援 他
キャンパス・コンサート協力費	300,000	0	300,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
"人間力を高める教育"支援事業	2,000,000	1,147,196	852,804	課外活動応援援助金・幸友Library
事務費	14,900,000	9,656,283	5,243,717	
租税公課	1,100,000	956,300	143,700	消費税及び地方消費税 ¥883,300 他
通信費	1,700,000	756,633	943,367	
印刷費	600,000	92,290	507,710	
消耗品費	100,000	78,048	21,952	
旅費	300,000	13,890	286,110	
雑費	300,000	195,112	104,888	
事務委託費	3,000,000	3,000,000	0	
幸友会システム費	7,500,000	4,366,010	3,133,990	幸友会システム開発費 他
支払手数料	300,000	198,000	102,000	
会議費	5,700,000	504,744	5,195,256	
総会費	5,000,000	504,744	4,495,256	第33期総会会場キャンセル料 他
会議費	700,000	0	700,000	
その他の支出	1,000,000	1,000,000	0	
一般事業積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
次年度繰越金	25,070,921	46,936,274	△21,865,353	
支出の部 合計	75,270,921	77,941,642	△2,670,721	

## 第33期 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

### ■資産の部 単位(円)

科目	金額
普通預金	47,561,774
定期預金	7,000,000
合計	54,561,774

### ■負債及び正味財産の部 単位(円)

科目	金額
未払金	469,500
前受金	156,000
一般事業積立金	7,000,000
次年度繰越金	46,936,274
合計	54,561,774



# 温故知新と 転禍為福で 中部の未来を拓く

第34期  
総会講演ダイジェスト  
日時：2022年4月27日(水)15時50分～  
会場：名古屋東急ホテル3階



名古屋大学名誉教授  
あいち・なごや強靱化共創センター長  
中部大学客員教授  
福和 伸夫氏

## Profile

1981年名古屋大学大学院修了後、清水建設(株)に入社。91年名古屋大学工学部助教授、97年先端技術共同研究センター教授、01年環境学研究科教授、2012年～21年減災連携研究センター長、2017～19年日本地震工学会長、2017年あいち・なごや強靱化共創センター長、2022年名古屋大学名誉教授。建築耐震工学、地震工学、地域防災などの教育・研究に従事。防災功労者・内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰科学技術賞、防災功労者・防災担当大臣表彰、兵庫県県政功労者、日本建築学会賞、同教育賞、同著作賞、地域安全学会技術賞、災害情報学会賞、日本地震構造協会技術賞、グッドデザイン賞などを受賞。減災連携研究センター設立、減災館建設、振動実験教材・ぶるるの開発、防災人材育成、防災啓発活動、産業防災、災害時の住まい・医療・福祉の確保など、災害被害を軽減する国民運動に注力。

## 災禍が重なる動く歴史

本日は、名古屋を中心とするこの地をどうやって守り抜いていくかという話をしてしたいと思います。

我々の社会は理系・文系に分かれた縦割りの社会で、時間や空間を俯瞰して全体を見る人がいない世の中をつくってしまっている気がします。そこで、文系と理系の枠を超えて人文系の歴史と災害の歴史をつないで年表をまとめると、100年に一度いろいろな災害が起きて歴史の転換期を迎えていることに気が付きます。20世紀初頭には、第一次世界大戦の開戦、スペイン風邪の流行、桜島の大噴火や関東地震。その前の江戸末期は、黒船が来航した前後に東海地震、南海地震、安政江戸地震が起き、コレラの流行、そして戊辰戦争によって江戸から明治に変わりました。現代も東日本大震災、感染症の流行、目の前には南海トラフ地震と首都直下地震が迫っていて、歴史的転換期を迎えようとしている雰囲気があります。荒唐無稽に聞こえるかもしれませんが、荒唐無稽と言っているだけではなく、こうした

ことが起きても社会が持続できる準備をしておくべきです。

かつて東京を襲った3つの地震を比較してみます。元禄関東地震、安政江戸地震、関東大震災ですが、元禄の地震と比べて関東大震災では東京の犠牲者が340人から7万人と200倍になりました。その理由は、地盤が弱い隅田川の東側に街を抜けたからです。その結果、多くの人が命を落としました。我々はこれを教訓にしているかと言えはしていません。この地にスカイツリーを建て、オリンピックを開催しました。でもこれが東京のビジネスモデルです。災害危険度の高い場所の経済的価値を高め、そこに人、物、金を集積して利潤を得ています。ただ、このモデルはおかしいと思います。なんとしても日本中で頑張っただけで小さくしないと国家として維持ができません。一方で、都道府県別の経済的豊かさランキングで東京が最下位というデータが最近出てきました。こうした資料が出始めたという事は、この国の在り様を本能的に変えないといけないという動きが始まっていることを意味しています。

## 進まない産業界の耐震化

2018年の北海道胆振東部地震で、北海道全域でブラックアウトが起きました。連系線が不十分なことに加え、電力の自由化により、発電コストの低い特定の火力発電所に大きく依存した結果です。南海トラフ地震が起きれば、西日本の火力発電所の多くが停止することが予想されます。発電所を一旦停止すると、再稼働のために安全点検が必要になりますが、エンジニアの数が全く足りません。電力の安定供給のためにもっとお金をかけておかないといけないことは明らかです。ここで戦後の自然災害による犠牲者の数を見てみます。まず風水害で犠牲になった人の数は、伊勢湾台風以降、国や県の徹底的な治水対策により激減しました。しかし、地震災害は全く被害が減っていません。地震災害の対策は行政ではできず、民間の自己資金によって対策するしかないからです。では、民間建築物の耐震化はどうかというと、ほとんど進んでいません。緊急輸送道路沿いの古い建築物の耐震化状況を見ると、大阪で

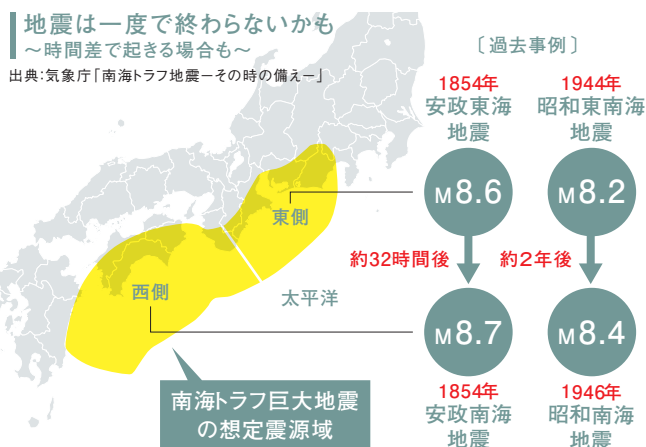
3割、愛知ではたった2割しか耐震補強がされていません。一方、経済界はどうかというところ、南海トラフ地震で全国515カ所の商工会議所のうち238カ所の商工会議所が被災します。さらに調べると、新耐震基準の商工会議所会館は約半数で、全体として約4割が耐震的に問題があることが明らかになりました。災害が起きたとき、地域の商工会議所は被災企業の支援や産業復興に大きな役割を果たしますが、この支えがなければ、中小企業を応援する人がいなくなります。公共施設の耐震化が進む一方で、産業界の耐震化はあまり進んでいないことがわかります。

## 災害をどう克服するか

国土審議会の計画部会でこんな話がありました。日本の国土構造を一極集中ではなく、「機能補完・機能分散型の国土」にすべきという話です。これは、特定のエリアが甚大な被害を被っても、国内の他のエリアがカバーするというものです。国の動きが新たな方向に変わりはじめています。また、国土強靱化推進室

でも基本計画の見直しに着手し、キーワードに「官民連携」をあげています。そのリード役を実は愛知が担っています。2017年に愛知県や名古屋市の地元企業の方々と「あいち・なごや強靱化共創センター」を作って議論を始めました。2020年には業界団体間の共同促進を目的とした、「中部防災推進ネットワーク」を設立しました。産業界で、産業の防災対策を進める機運が出て始めています。

南海トラフ地震は必ず来ます。それならば来ることが前提の国家運営に変えないと駄目です。その時、日本はどうすれば良いのか、日本の復興計画を今作っておかなければなりません。さらに、事前にさまざまなビジネスをつくらせて災害被害を減らすことを目指すべきです。「災い転じて福となす」で、皆が暗くではなく、前向きに捉えることです。災害が多い国だからこそビジネスチャンスはたくさんある気がします。できることを語り合うことによって、防災ビジネスのスタートアップもできるでしょう。その一番のベースがこの地区です。愛知県ではさまざまな連携の場を他地域に先駆



※Mはモーメントマグニチュード ※西側に先に大規模地震が発生する可能性もあります。

けてたくさん作ってきたため、仲間も多く互いに信頼関係もできつつあります。具体的には、名古屋市の官庁街三の丸地区を防災の司令塔とし、自動車産業が集積する西三河地域や愛知県営名古屋空港の隣接地を防災拠点にする構想が官民連携で動き始めています。このようなことが地元の力でできるのがこの地区の素晴らしいところです。災害被害を前向きに捉えることで未来を拓いていけるはずですが、本日も集りの産業界の方々が、今までなかった新しい世界を築いていただくことを期待しています。



# 中部大学フェア

2022



2022年9月15日(木)、今回で第17回目を迎えた「中部大学フェア」は、3年ぶりに開催することができました。午前中に特別講演が、午後には研究シーズ発表とミニ講演会が行われ、中部大学と企業、自治体、地域団体の皆様、学生が、知的財産の交流を図りました。

## 特別講演

会場: アクティブホール(不言実行館1階)

### 講師

サントリーホールディングス株式会社  
社友

かみや ゆうじ  
神谷 有 二 氏

### PROFILE

1949年愛知県碧海郡高浜町(現高浜市)生まれ。1968年愛知県立刈谷高等学校卒業。1972年東京大学工学部化学工学科卒業。1974年東京大学大学院工学系研究科生物化学工学修士課程修了。同年4月サントリー(株)入社、2012年～2015年サントリー興産(株)社長。2017年～サントリーホールディングス(株)社友。2018年～IBAの教え子らと「MBAの2階」を設立(ラーニング・バーのマスター)。



### 演題

## 世の中の半歩先を行く、 Good Companyをめざして ～変革し続ける人と組織～

「本音で話せる関係づくりだと言います。各工程で起きていたトラブルの再発防止に取り組んだ際にも、この関係性が生きたこと。また、トラブルをどう捉えるかという点にも言及。トラブルは、神様の声だと表現し、そこから何を学ぼうかという意識でトラブルと向き合うことで、前向きな行動に変えることができたと言います。」

また、SDCA活動の向上については、お客様に成り代わって品質を保証するという姿勢のもと、スタンダード(S)をきちんと回すことを基本としながらも、新しいことを行う必要性を説明。「環境は複雑で先のこととはわからない。そうであるならやってみるしかない。新しいことを行い、自ら変化を起し、そこから学び続けることで、人より半歩先に出られる」と述べられました。また、基本サイクルをきちんと回した上でそこから少しはみ出すことが変革サイクルだとし、変革サイクルへ移行するには、新しいやり方を追求したいという意欲を持って仕事を捉えられるかがポイントで、既存の組織の中で変革サイクルを回していくことの重要性も説きました。

「水と生きる」をスローガンに掲げ、酒類や飲料、健康食品の事業に加えて社会活動にも力を入れるサントリー。創業者 鳥井信治郎氏の「やってみなはれ」の言葉に代表される企業であり、その言葉がサントリーの歴史そのものだと紹介して講演は始まりま

した。講演ではまず、神谷氏が人生のターニングポイントと振り返る利根川ビール工場を取り組んだ「革新型業務」について話されました。当時の品質管理部門長としての課題は、ビール事業全体の品質保証の強化。最初に試みたのは、現場のキーマンとの飲み会

さらに、変革はリーダー一人の力で為されるものではなく、組織のメンバーを結集することが必要で、組織と個人を一体化させる「共有ビジョン」について解説。「リーダーのビジョンが共有ビジョンになるのではなく、メ



# ウイルス感染症を防ぐ 新たな技術の開発

新型コロナウイルス感染防止は国際的な課題となっています。ミニ講演会では、新機軸として、ウイルス不活化を可能とする布帛<sup>ふはく</sup>、mRNAワクチンの分解を防ぐ断熱性の高い低温輸送容器、注射によらず接種できる新タイプのワクチンの研究開発について紹介しました。

## 演題1

## 抗ウイルス活性を持つ 布帛の原理とその開発

生命健康科学部  
スポーツ保健医療学科 教授

伊藤 守弘



大半の微生物は、pH7~8が最適値となり、この最適pH値から外れると、微生物の増殖は抑制されることがわかっています。講演では、その点に着目したウイルス不活化の原理とその開発方法を、評価とともに説明。pHを劇的に変化したガラス繊維を使ったフィルター(布帛)を作成し、ウイルス量や空気の流量等をコントロールすることで抗ウイルス効果を得た実験結果を示し、安価に作る事ができるメリットも紹介されました。

## 演題2

## mRNAワクチン輸送のための 軽量断熱容器の開発

工学部  
宇宙航空理工学科 准教授

神田 昌枝



新型コロナウイルスの発症予防を目的として接種が進められているmRNAワクチン。海外から空輸されたワクチンは、-75℃や-20℃といった低い温度での保管が必要です。講演では、超伝導分野と航空宇宙分野の技術を応用した極低温冷却保持容器と多層断熱材(MLI)の研究発表。容器の軽量化と断熱性能の向上によって、総重量の軽量化と目標としていた冷却保持時間をほぼ達成できたことを紹介されました。

## 演題3

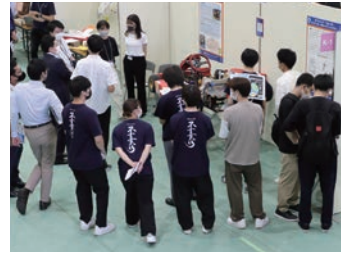
## 革新的モダリティーによる 新型コロナワクチンの開発

生命健康科学部  
生命医科学科 教授

鶴留 雅人



新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、mRNAワクチンなどの非従来型モダリティーの実用化を促進させました。講演では、より効果的な感染防御機能を被接種者に付与することを目指した新たなモダリティーのワクチン「非増殖型組換えウイルスワクチン」の開発について説明。体への負担が少ない鼻腔内噴霧により、呼吸器粘膜表面でウイルスを中和する抗体(IgA)の産生を誘導することができる効果を述べられました。



メンバー自身の共感により生成されるとし、自分の仕事とビジョンの間の橋渡しができたときに初めて共有ビジョンになる。そのための場をつくることも必要だ」と説明しました。その後は、本社の生産革新グループやグループ会社での経験から得た学びについて語り、最後は、組織を取り巻く環境(経済ゾーン、社会ゾーン、地球環境ゾーン)の図を示しながら持論を説明。「グッドカンパニーは、経済ゾーンから外側へ向けて常に思いを馳せなくてはならないが、われわれ組織がわかっていることはほんの僅かで、環境の変化に伴い、わからないことが増えて不具

合が発生する。多くの企業や組織はこうした不調が起こつてから何かを変えようとするが、これが良いとは思わない。私の変革には3つの条件がある。関係者全体の世界が良くなること。その取り組みに全員が心から参画できていること。参画する人が充実感や喜びを得られること。これらをいかにつくり出していくか。世の中には絶対良いリーダーも組織もない。あるのはリーダーと組織メンバーの関係性だけ。その関係性をどうつくっていくかが問われている」と語り、日々の活動の積み重ねが変革になるという言葉で締めくくられました。





# 会員企業 NEWS

会員企業の  
最新情報をご紹介します

## 株式会社サラダコスモ

### 地元の農産物を活用して 地域の活性化を目指す。



国内外で需要が高まっている蒸留酒「ジン」。中でも、作り手がさまざまなアレンジを加えたクラフトジンが昨今人気を博しています。岐阜県中津川市で野菜を生産販売する(株)サラダコスモが運営する岐阜中津川蒸留所は、2021年5月、地元農家が生産したイチゴやレモンをボタニカルに使用し、隠し味に「ちこりの根(チコリルート)」を利用したクラフトジン「NAKATSUGIN」を発売。その後、さまざまな農産物をボタニカルに使ったクラフトジンを次々と製造し、10種類を商品化。そして、2022年7月には、シリーズ11作目となる新作、「NAKATSUGIN ブラッドオレンジ&ティーリーフ」(500ml/税込3,850円)を発売しました。今回はメインボタニカルに、愛知県美浜町の萬秀フルーツで栽培された赤い果肉が特長のブラッドオレンジと、岐阜県中津川市の後藤製茶が農薬を使わずに栽培した茶葉を使用。柑橘系の爽やかさと茶葉の香ばしさがミックスされたフルーツティーのような味わいに仕上がりました。地元の農産物を使うことで生産農家も応援でき、地域全体の活性化につながっています。



#### 担当者から プラスワン情報

当社では、野菜廃棄物ゼロに向けた取り組みを進行中です。工場から排出される野菜残渣を粉砕・脱水し飼料化するシステム、「エコフィードシステム」を導入して、家畜用飼料に再利用するほか、野菜で着色する「クレヨン」向けに野菜の未使用部を提供しています。



#### 株式会社サラダコスモ

岐阜県中津川市千旦林1-15  
TEL.0573-66-5111(代表)

<https://www.saladcosmo.co.jp/>

#### 事業内容

野菜づくり農業&酒類製造販売、教育型観光施設「ちこり村」運営、レストラン運営。



このコーナーでは会員企業の最新のPR情報(新商品の開発・販売、新制度の導入、新店のオープンなど)を募集しています。

お問い合わせ・お申し込みは、中部大学幸友会事務局 0568-51-4740 まで。

# TOPICS

スポーツを通じてあてになる人間を育成。

## — 中部大学スポーツ宣言 —

— スポーツクラブ活動を通じた人間力育成に積極的に取り組み、地域から愛される学園を目指して —

物事を知り、考え、  
判断する能力にあふれる  
アスリートを育成します。



観戦する人やサポートする人と  
感動を分かち合います。



スポーツを通じて  
地域貢献に取り組みます。

2022年4月、本学園は、「中部大学スポーツ宣言 CHUBU DECLARATION ON SPORTS」を策定しました。この宣言は本学園のスポーツクラブが、長い歴史を通じて確立してきた活動理念を明文化したもので、スポーツクラブ活動を通じた人間力育成に取り組んでいる、というブランドイメージを確立することによって、学生・生徒



が「中部大学」に誇りをもてるとともに、地域に愛され、応援してもらえる学園となることを目指します。そして、各スポーツクラブが、この宣言を活動指針として引き続き自己研鑽に努めるとともに、次世代を担う指導者育成方針と位置づけることにより、その活動理念が代々受け継がれ、さらに発展していくように学園全体が連携して活動していきます。今後も応援よろしくをお願いします!

企業活動と大学研究に相乗効果を。

## — CU Synergy-Program —

CU Synergy-Programは、社会の第一線で活躍する方を対象とした社会人教育プログラムです。本学の教員が特定の企業様と個別の課題解決に取り組む共同研究とは異なり、多くの企業様に共通する問題の解決につながる高度な知識・技術を講義や実習の形式で提供するために2022年4月に開設いたしました。社会のある程度広い範囲に共通する関心事や、注目度の高いテーマを取り上げ、総合大学である本学の特色を活かした理系と文系、あるいは文理融合での各種講座を教員や博士課程の大学院生の力を結集し開催しています。受講された方が知識・技術を企業に持ち帰り、事業展開にお役立ていただくとともに、本学の教員にとっても、企業様との密な結びつきを築き、新たな研究テーマにつながるなどお互いにとってメリットのあるものとなっています。

2022年春学期は、「AI基礎と応用」と題して、毎週火曜日(1回3時間・全15週)に開講しました。

主な講座テーマ(例)

AIと機械学習 / 畳み込みニューラルネットワークの基本・発展・応用 / 時系列データに適したディープラーニング / Deep Learning応用 / プロジェクト課題 / AIの今後 ほか

プログラムの  
ポイント

- 東海地区のものづくりに合わせた外観検査などの画像認識技術から、異常検知やマテリアルズ・インフォマティクスなどの広い分野におけるAI技術を習得できます。
- プロジェクト課題では、データの収集からアノテーション、モデルの作成などの課題を通じて、AI開発の実践力を養えます。
- AI開発における各企業が持つ課題に対して、藤吉弘巨教授(ロボット理工学科、日本ディープラーニング協会理事)らの研究者がアドバイスをを行います。

お問い合わせ先

研究支援部 TEL.0568-51-4852







第19回中部建築賞を受賞(1987年)した経営情報学部棟「21・22号館」。階段状の中庭を歩く学生たちに、キャノピーの間から陽光がやさしく注ぐ。

中部大学幸友会会員数

法人会員 848法人  
個人会員 375名  
(2022年11月1日時点)

## お問い合わせ一覧

○ご入会手続き	▶ 中部大学幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリア支援課	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 産官学連携推進課	0568-51-4852(直通)
○エクステンションカレッジ・公開講座	▶ 地域連携センター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 入学センター	☎ 0120-873941
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 渉外課	0568-51-5250(直通)

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問、バックナンバーのご希望などは、下記のE-mailへお気軽にお寄せください。

発行 2022年11月25日  
編集 中部大学幸友会  
住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学学園広報部内  
TEL.(0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186  
ホームページ <https://www.chubu.ac.jp/business-industry/koyukai/>  
E-mail [koyukai@office.chubu.ac.jp](mailto:koyukai@office.chubu.ac.jp)

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。